

資料紹介

東京大学「紛争日誌 その4」(2)

井 上 いぶき・寺 島 宏 貴・秋 山 淳 子

第37～42号からの継続として、東京大学による大学紛争の経過記録「紛争日誌」(《「紛争日誌」資料群》の概要については第37号を参照)につき、今号では「その4」の後半部分、1969(昭和44)年1月～3月の翻刻を掲載し、完結としたい。

1969年は1月4日の加藤総長代行による「大学の危機の克服をめざして」掲示から動き始める。「民青系」の7学部学生代表団は、大学本部の全学集会交渉委員と折衝をすすめ、「共斗会議派」は集会開催による「収拾」に反発、武装化をふくむ対立姿勢を明確にした。これを支持する外部学生の流入も増え、駒場キャンパスをふくめ比較的大規模な連日の集会・デモ・衝突の記述が続く。こうした事態から1月9日夜に大学側が機動隊の派遣を要請、武装学生の排除を行なうとともに、翌10日の7学部集会開催を告知する。

次いで10日には、秩父宮ラグビー場で全学集会が開催され、加藤総長代行と学生代表団との間で「確認書」を調印、以後各学部で「批准」について集会が開かれていく。一方の「共斗会議派」は全学集会会場外で機動隊と衝突、構内への支持勢力流入も加速し、再度各拠点のバリケード強化に注力していった。両者の武力衝突は激しさを増し、駒場・本郷キャンパス周辺には機動隊が出動する事態が続いた。

そして、1月18日早朝から東大当局の要請により8,500人の機動隊が入構、一斉に封鎖解除を開始し、翌19日にわたる「共斗会議派」との激闘を展開する。日誌も1月11日以降は、本郷・駒場キャンパスの項目を別系統として整理し(18・19日は神田地区関係も追加)、記載の精緻化がみられる。「安田講堂事件」については、機動隊の戦術展開をふくめ詳述され、大学側の記録として大変貴重である。さらに1月20日には佐藤栄作総理大臣および坂田道太文部大臣等の構内状況視察があり、2月12日には大内総長代行代理が「共斗会議派」に拉致される事件が発生、他の教官に対する拘束事案もあり、3月にも機動隊が導入された。大講堂が封鎖解除されたあとも、本郷・駒場キャンパスとも混乱が続いていたのである。

一方で、3月になると一部大学院入試実施や授業再開についての記述もあらわれる。また23日には総長選挙が実施されているが、日誌は「総長選挙が」のみで記述が途切れ、結果が残されていない。その後、25日に加藤総長代行が総長就任を正式受諾した旨が記述され、一連の記録が結ばれている。

翻刻完結に際し総括として、「紛争日誌」の特徴をあげるならば、構内を中心とした集会やデモ等、学生の行動を、大学当局が調査し、場所と時系列で精緻に整理した記録という点であろう。本資料群は、大学の公式記録による時系列の基準として活用が期待される。

しかし、作成目的が学生の動向把握にあるため、執行部や教授会の動きについては開催状況等の記録にとどまり記述されていない。この点は、評議会や各部局教授会資料、執行部の座談会である「東大紛争回想会議」資料（加藤一郎関係資料等）との併用により、詳細な大学運営と紛争対応の分析が可能となるだろう。

なお、今回翻刻部分には、事態の緊迫からか明らかな誤記とみられる個所があった。「火炎ビン」・「火炎放射器」とすべき部分が「火災ビン」・「火災放射器」とあったため、読みやすさの便宜を図り、該当部分に「*」を付して「火炎」に書き換えて翻刻している。また、それ以外の一般的な注意点や凡例については第37号に記載されているので、あわせて参照されたい。翻刻作業は当館職員（井上いぶき・寺島宏貴・秋山淳子）の分担によるものである。

「紛争日誌 その4」(2) (1969（昭和44）年1月1日～3月26日)

1月1日（水）	1:00 頃	教育学部前に民青系武装学生約700人が集合、全員がかがり火をもち学内デモに移り、教育学部一図書館一正門一工列品館一図書館一医学部本館一医学部中央館一竜岡門一医学部中央館一赤門のコースで行進、午前1時40分散した。
	15:00	教育学部前に民青系学生約180人が集合、第二食堂に向けデモ。
1月2日（木）	11:30	教育学部前に民青系武装学生約120人が集合、第二食堂に向い学内デモしたが、午後零時30分同学部前に戻り解散した。続いて約98人が同様デモを行なった。
	13:55	教育学部前に民青系学生約120人が集合後、赤門から出構教育大に向ったが、午後7時10分約80人が再び赤門から入構した。
	16:50	教育学部前に民青系学生約120人が集合後、第二食堂に向い学内デモ、その後第2陣約100人が午後6時17分頃同様デモを行なった。
	19:20	さらに第3陣約150人が、つづいて第4陣約10人が同様デモを行なった。
1月3日（金）	10:30	教育学部前に民青系学生約25人（内女子10人）が集合後、赤門から出構した。
	14:30	上記同様約80人が集合後、午後2時50分頃赤門から出構した。続いて約60人が同学部前に集合、約20分間軍事的訓練を行なった。
	17:30	民青系学生約60人が赤門から入構、教育学部に入る。
	20:20	上記同様約25人が入構した。
	20:50	教育学部前に民青系学生約200人が集合後、軍事的訓練を行なったが、午後10時30分頃終了した。
1月4日（土）	9:30	教育学部前に民青系学生約250人が集合後、約30分体操を行なった。
	12:00-13:30	上記民青系学生約300人が第二食堂まで3組に分れ学内デモを行なった。

18:30-20:00	上記同様約 150 人が学内デモを行なった。
21:45	教育学部前に民青系武装学生約 70 人が集合後、図書館付近を一周、午後 10 時頃解散した。
	(その他) 1. 加藤総長代行の「大学の危機の克服をめざして」を学内各所に掲示。 2. 7 学部代表団から午後 9 時全学集会交渉委員会へ電話で① 1 月 10 日に集会を開きたい②その前に議題の内容にわたる予備折衝を行ないたい、以上の 2 点に関し早急に話し合いたい旨申し入れがあった。

1 月 5 日 (日)	9:00	教育学部内には民青系学生約 300 人が駐留している模様
	13:20	赤門付近において“1・5 医学科総決起集会”が開かれ、民青系、一般学生約 55 人集合した討論後、午後 2 時 15 分デモに移り、医学部本館—病院通り—理学部 1 号館のコースで行進、同館 182 号室に入る。午後 5 時 50 分約 90 人が同館からデモし、教育学部に入る。
	17:00-19:00	共斗会議派学生約 70 人が分散して正門から入構、大講堂に入る。
	18:20	共斗会議派の武装学生約 20 人が大講堂から出て、農学部に向い、つづいて 110 人が同学部構内に入った。同学生らはまず、農学部正門を閉じ、陸橋、各建物の入口に見張りを立てた後、同学部 1 号館、第 8 講義室、同 2 号館第 1 講義室および同 3 号館第 403 号室を内部から机、椅子などでバリケードを築いて封鎖した。
	19:00 頃	教育学部に駐留する民青系学生は武装して、図書館周辺でデモを繰り返した。
	21:45	共斗会議派の武装学生農学部正門を出構、都電通りをデモし、正門から入構、午後 10 時大講堂に入る。
		(その他) 全学集会交渉委員と学生代表団幹事との間で数度にわたり電話で、集会開催日および予備折衝に関し話し合いが行なわれた。

1 月 6 日 (月)	9:30 頃	正門前に下記立看板が掲出された。 { 本日 全学総決起集会 東大斗争勝利全学集会粉碎 加藤提案粉碎 入試問題をテコとする収拾策動粉碎 教育の帝国主義的再編粉碎 工スト実 全学共斗会議
	11:00	農学部構内において民青系学生 35～6 人が本日 12 時からの農 3 号館前の封鎖抗議集会の呼びかけを始め、一方農学部共斗会議の学生が農 1 号館屋上からこれに反対の呼びかけを行なったが、午前 11 時 13 分頃 15～6 人が同館玄関前に出て集会を始めた。
	11:00	駒場構内正門前において“駒場共斗会議決起集会”が開かれた。

11:25	農学部正門前で農学部共斗会議派と民青系との立看板掲出をめぐり、双方の学生約 50 人が口論の後もみ合いを行なったが、農学部共斗会議派の学生は農 3 号館前に退き付近をデモした。
12:30	理学部 1 号館前に同学部自治会（民青系）の下記立看板が掲出された。 { 6 日 一斉クラス討論 4 時 自治会 7 日 2 時 学生大会 8 日 1 時 全員交渉 9 日 2 時 理学部団交実現総決起集会 4 時 全学総決起集会 泊り込み 10 日 1 時 統一大衆団交 11 日 学生大会
12:30	農学部 1 号館前で農共斗会議派学生 15～6 人が、また同 2 号館前では民青系学生約 80 人がそれぞれ集会、同正門付近には民青系他大学生約 30 人が屯している。
12:30	大講堂前に共斗会議派学生約 10 人が集まり、“1・6 全学総決起集会”の呼びかけを始めた。
13:00	農学部 2 号館前の民青系学生（職員を含む）は集会終了。同学部構内をデモ後、午後 1 時 10 分散した。
13:20	日大共斗会議の学生約 20 人が武装して正門から入構、大講堂前の約 20 人の日大生と合流。
13:30	共斗会議派学生約 100 人となり学内デモを行なう。
13:30	駒場の共斗会議派学生は決起集会を終り、約 80 人が本郷に向う。
14:40	上記学生本郷に到着、大講堂前の共斗会議派の集会は約 300 人となり、武装デモに移り、大講堂前一正門一都電通り一赤門一医学部本館一病院通り一大講堂前のコースで行進したが、途中、教育学部および経済学部付近で民青系の立看板を角材で破壊した。
14:50	農学部 3 号館教官会議室に同学部の民青系学生約 100 人が入り、学生大会開催の準備を始め、室内にロッカー、机等でバリケードを築く。
15:00	大講堂前の共斗会議派学生（日大生を含む）約 300 人は再び武装デモに移り、大講堂前から陸橋を渡り農 3 号館に押しかけ学生大会粉碎を呼び教官会議室の各扉を角材、鉄パイプ、丸太等で破壊し突入をはかったが、民青系学生も室内から抵抗した。その後民青系学生は梯子、縄等を用い中庭に下り、その後同館を脱出したが、逃げ遅れた民青系学生数人が共斗会議派学生に捕えられ、農 3 号館前において追及をうけたが結局午後 5 時頃大講堂前に拉致され同所においてさらに自己批判を求められた後、午後 5 時 20 分頃釈放された。このため農学部学生大会は流会となった。 一方農学部では共斗会議派学生の殆んどが引きあげた後、農共斗会議学生約 20 人が民青系、一般学生約 100 人につるしあげられた。そのうち 1 人は大講堂前の集会に逃げ帰り報告したため、約 50 人が再び農学部には押しかけ激論を交わしたが、午後 5 時 35 分共斗会議派学生は大講堂に引きあげた。
17:27	共斗会議派学生約 30 人が正門から出構した。
17:40	日大共斗の学生約 30 人が正門から出構した。

	17:40	農1号館前で集会中の民青系学生約150人は農学部正門を出構、赤門から入構し、午後5時52分教育学部に入る。
	18:31	教育学部前に民青系武装学生約300人が集合後、図書館付近を一周デモ行なった。
		(その他) 1. 午後4時から約1時間全学集会交渉委員と学生代表団幹事とが会談した。席上大学側は1月10日に集会を開くことに同意した。 2. 午後2時から午後6時まで教育学部において学部集会が行なわれ、教官25人、学生、院生、職員併せて70～80人が参加した。
1月7日(火)	1:00	教育学部前に民青系武装学生約150人が集合後、同所から医学部本館—医学部中央館—社研—図書館—史料のコースでデモ行進し、午前1時27分解散した。
	4:00	大講堂前に下記立看板が掲出された。 { 1. 9 全国学園斗争勝利総決起集会 1時 スト実結集 2時 東大全学総決起集会 3時 全都総決起集会 結集校：東大、日大、中大、東教大、外語大 青山学院大、明治学院大、上智大 東洋大、電通大 工 スト実 全学共斗
	10:09	学部長会議開催(宇航研)
	12:20	正門付近で7学部代表団の立看板掲出をめぐり同代表団側の学生5人と共斗会議派武装学生6人との間で論争が生じ、その後代表団側学生は午後2時頃には約70人となり激論がつづいた。
	12:43	学部長会議終了。
	13:30	教育学部周辺に民青系武装学生約100人が各所に分散して警戒体制をしいている。
	13:42	評議会開催(宇航研)
	14:00	薬学部記念講堂において東院協主催の1・7全学大学院生総決起集会が開かれたが、開会当初一部院生が角材、ヘルメットを建物内に搬入したため薬学部教職員がこれが撤去を申し入れたため、院生も承諾撤去した。 同総決起会には院生約200人が参加、討論を行なったが、午後5時30分頃終了、参加者のうち約80～90人が学内デモを行なった。
	14:00頃	駒場において教養学科学生大会が開かれた。 同大会では討論の後10日までのスト提案が出されたが否決され、また10日までの授業放棄が提案されたが可決保留となった。
	14:30	理学部2号館において同学部学生大会が開かれたが、午後4時頃定足数に達し成立した。

		同大会では討論、提案採決を行ない午後 11 時 40 分終了した（内容別紙）
15:00		経済学部为民青系学生約 50 人がデモを行ない、図書館付近を一周後午後 3 時 10 分散した。
15:45		同学部第 2 教室において団交実現結成大会が開かれ約 110 人が参加し、討論を行なったが午後 7 時 30 分終了した。
17:10		評議会終了（大学改革準備調査会等の設置が了承された）
21:00		教育学部前に民青系武装学生約 220 人が集合後、同学部前一医学部中央館一病院通り一第二食堂に向いデモを行なった。
		（その他） 午後 3 時 30 分から約 1 時間、全学集会交渉委員と 7 学部学生代表団幹事とが会談、全学集会の時間、予備折衝、武装者参加の問題等について意見を交換した。

理学部学生大会（1・7）				
1. 提案採決				
	賛成	反対	保留	
①自治会常任委	89	107	76	否決
②理斗争委	68	195	18	〃
③有志	116	127	35	〃
（提案内容）				
① 7 学部大衆団交実現等				
② 理全員交渉ボイコット、7 学部集会粉碎等				
③ 7 学部団交実現、スト解除等				
2. 緊急提案採決				
	賛成	反対	保留	
全学大衆団交実行委	146	66	16	可決
（提案内容）				
1・10 全学大衆団交実現要求貫徹をめざし、各学科で全学大衆団交実現実行委を作り、闘いを強めよう。				
大衆団交に対するあらゆる妨害をはねのけ、7 学部（2 科学 5 系）代表団の下に結集し、1・10 全学大衆団交を勝ちとろう。				
3. 理学部全員交渉の代表団を選出				

1 月 8 日（金）	13:00	経済学部 2 番教室に農学部学生約 80 人が集合、“7 学部団交実現集会”を開き、学生大会大衆団交実現実行委成立までの経過報告および今後の行動について論議した。
	13:00	医学部本館において社会学部 ML 派の集会が行なわれる模様でヘルメット持参の男 4 人、女 3 人が同館裏口から入る。

	13:40	七徳堂において理学部全員交渉が行なわれ、開会時約 300 人、その後 500 人以上が参加し、午後 7 時 30 分頃終了した。同交渉終了後理 1・2 号館のバリケードが民青系学生により強化され、多数の他大学生が泊り込みを行なった。
	14:30 頃	民青系武装学生 20 数人が正門でビラまき後、共斗会議派の立看板を教育学部に持ち去る。
	15:30	民青系学生が教育学部に鉄パイプ 50 本位を撤入した。
	15:30	駒場の 743 教室において団交成功駒場総決起集会が開かれ、教官 20~30 人、学生約 550 人が参加したが、午後 6 時 30 分終了、構内をデモした。
	16:10	駒場共斗会議の学生が第 8 本館で集会約 120 人がヘルメット着用構内デモ後、本郷に向った。
	17:20	上記学生正門から入構、大講堂に入る。
	17:47	教育学部前に民青系学生（ヘル着用）約 80 人が集合後、赤門を出構、都電通りを経て農学部構内に入り、農 3 号館前に集結した。
	18:00	農共斗派学生は、1 月 10 日の 7 学部集会が農グラウンドで開催される可能性にそなえ農学部 1 号館 8 番教室に立籠っていたが、同館を内部から封鎖した。
	18:20	大講堂前に共斗会議派武装学生約 350 人が集合後陸橋を渡り農学部構内に入った。
	18:45	上記学生農学部 2 号館新館を封鎖、その後構内のコンクリートブロックを壊し、同館屋上および棟つづきの応微研屋上に運び上げた。
	19:40	農学部から民青系学生約 20 人が撤退、教育学部に入った。
	20:27	教育学部前に民青系武装学生約 350 人が終結後、図書館（付近一周）—医学部本館—病院通り—器材前（引返し）—病院通り—医学部中央館—教育学部のコースでデモし、午後 9 時 20 分解散した。
	21:17	共斗会議派学生約 80 人は農学部正門を出構、都電通りを経て正門から入構、午後 9 時 20 分大講堂に戻る。
	21:30	共斗会議派学生約 100 人が大講堂を出て正門出構、本郷 3 丁目方面へ向った。
	22:00	農学部構内の共斗会議派学生は 50 人位を残し、大講堂に撤退した模様。
		（その他） 3 時 30 分から全学集会交渉委員と学生代表団幹事との会談が行なわれ、予備折衝の開催および全学集会を学外で開くこと等について意見が交換された。また同夜数度にわたり連絡が行なわれた。
1 月 9 日（木）	1:40	教育学部前に民青系武装学生約 200 人が集合後、付近をデモした。
	4:10	民青系学生約 20 人が図書館付近をデモし、法学部研究室へ投石した。また民青系学生数人が社研付近から相当数の碎石を教育学部内に搬入した。

4:50	大講堂前に共斗会議派学生約 40 人が集合後社研前までデモを行った。
10:30	教育学部前に民青系学生約 500 人が終結後同学部に入る。
10:22-12:43	学部長会議開催（海洋研）
13:30 頃	教育学部から民青系武装学生約 140 人が理学部 1 号館に移り約 3,000 人で同館の防衛体制を固める。
14:00	工学部職員組合入口から東職約 300 人がデモし、経済学部前に集結した。
14:10	共斗会議派学生農芸化学科新館の封鎖を解く。
15:00	民青系武装学生約 100 人が理学部 2 号館に入り、その後一般学生も混って全般にバリケードを築いた。 また、第 2 食堂にも民青系武装学生多数が集結した。
15:50	経済学部前で 7 学部集会の成功を期する“団交実現総決起集会”が開かれ、学生、院生、職員等約 900 人が参加したが、午後 5 時すぎ教養学部学生が到着する等で約 1,500 人に達した。 一方大講堂前には午後 2 時 5 分頃から共斗会議派を支援する、日大、中大、東洋大、青学大、電通、都立、法政、慶応、芝浦工大等のほか近県から反民青系各派の武装学生が続々入構し、午後 4 時 10 分頃には約 2,000 人に達し“東大斗争勝利・全国学園斗争勝利全都総決起集会”を開いた。
17:20	日大から支援部隊約 450 人に正門に到着、大講堂前の集会に参加した。
18:30 頃	共斗会議派学生とこれを支援する他大学生の主力は行動を起し教育学部の襲撃に向い、角材、鉄パイプのほか大量の投石用の石も用意し、午後 6 時 40 分社研、新研の入口から突入、教育学部の建物を側面および屋上から包囲し、さらに正面入口にも攻撃を加えた。午後 7 時 30 分頃にはさらに史料編纂所に侵入、背後からも攻撃し、民青系学生との間で激しい攻防が繰り返された。
18:45	経済学部では同建物前に集まっていた教養学部団交実現実行委メンバーほか 400 人余りが事態緊迫を理由に建物に入ることを要請したため経済学部斗争委書記局はこれを認めた。午後 7 時 5 分頃日大中核派を主力とする共斗会議派学生が建物封鎖に押しよせ正門玄関で乱斗が発生した。同建物内からは放水、投石で応戦したが、共斗会議派学生は、石塊のほか火焰ビン、バルサンなどを投げ込み、さらに同建物の裏側からも攻撃した後、一部の共斗会議派学生は 3 階の非常口からも建物に侵入したため乱斗は一段と激しさを加え負傷者はしだいに増加した。
18:30 頃	共斗会議派の別動隊が工学部 2 号館に侵入、午後 7 時 25 分同館を封鎖、さらに午後 7 時 40 分工学部 3 号館に侵入した。
19:30 頃	共斗会議派およびこれを支援する学生約 200 人は理学部 1 号館に対し投石等による攻撃を始め、正面玄関のバリケードを突破し、さらに内側の防火扉の破壊をはかった。
20:20	大学側の要請により機動隊が赤門から構内に入った。このため各建物を攻撃中の共斗会議派および支援の学生は四散し、機動隊は約 16 分後撤収した。

20:45	共斗会議派学生等再び経済学部に押しよせ、同建物前に坐り込んだ一般学生にも攻撃を加えた。
20:50 頃	一旦退いた理学部1号館攻撃の共斗会議派等の学生は再び押しよせ防火扉を丸太、鉄棒等で破壊しようとし、さらに講義室の天井を破り隣の講義室への侵入路を開こうとし、また正面玄関前で机、材木等を燃やし始めた。
21:43	大学側の再要請により機動隊正門から入構、同45分には竜岡門から、同50分弥生門からそれぞれ入構し、各建物を攻撃中の学生の排除にあたった。このため大部分は逃走後、大講堂前に集結をはかったが、機動隊はガス弾をたて続けに発射し学生を追い散した。その後機動隊は事件の再発をおさえるため、大講堂付近に待機したが、再発の可能性がなくなったと判断したので午後11時9分に撤収命令が出され、同45分に最終部隊は撤収した。 なおこの夜の負傷者は大学救護班を通じたもの104人（内2人は重傷で入院）、救急車で運ばれたものは11人であった。 また機動隊に2人が公務執行妨害、凶器準備集合罪で逮捕された。
23:00	大講堂のガス供給を停止
24:00	大講堂前に共斗会議派学生約300人、教育学部前には民青系学生等約3,000人が集会、討論を行なっていた。
	(その他) 加藤総長代行は同夜機動隊導入の理由および明10日に7学部集会を開く旨の声明を発表し学内に掲示した。

1月10日(金)	0:30	民青系学生約3,000人が学内デモを行なったが午前3時頃までに分散、病院、第二食堂、理学部1・2号館、教育学部等に入る。共斗会議派学生約30人は同時刻ヘルメット回収を行なっていた。
	11:10	大講堂前に共斗会議派学生約250人に集結し、教育学部前は民青系学生約300人が集結した。
	11:45	全学集会交渉委員と7学部学生代表団とは午前6時30分以降電話連絡あるいは会談等のかたちで行なわれていたが、代表団幹事から①集会時間をなるべく短かくする①集会終了後直ちに代表団団交を行なうとの条件が出され、大学側もこれを了承したため、本日秩父宮ラグビー場で7学部集会開催は合意に達した。
	12:00	共斗会議派武装学生約280人大講堂前よりデモを起し、教育学部側面(社研側)のバリケード排除にかかる。これに対し民青系学生は教育学部屋上から投石したため共斗会議派は午後0時15分大講堂に戻った。
	12:20	赤門付近で共斗会議派武装学生約40人と民青系学生との間で投石合戦が行なわれた。
	12:30	経済学部前に民青系学生約600人、理学部2号館に同約100人、赤門内側に一般学生約300人が集結した。

12:30	駒場の共斗会議派学生（主力反帝）は、午前11頃から約200人が駒場正門内で集会後構内デモを行なった後秩父宮ラグビー場の7学部集会粉碎を叫び出発、地下鉄外苑駅で下車したが、全員がヘルメット、角材で武装していたため機動隊に規制された。学生は激しい投石を行なったため機動隊はガス弾を発射、学生を追い散した。このあとも共斗会議派学生は波状的に会場付近に押しよせたが機動隊の厚い警備にはばまれ退散した。
12:40	東大職組約300人が御殿下グランドからデモを起し、経済学部前の集会に加わる。
12:55	経済学部前の民青系の集会は約1,000人となる。
13:00	大講堂前は共斗会議派学生約300人が集結「7学部集会実力粉碎」を叫び集会を行なった。
13:25	共斗会議派支援の日大生約40人が正門から入構、上記集会に参加した。
13:30	秩父宮ラグビー場において“7学部集会”が開始された。代表は大学側から加藤総長代行、大内経済学部長、寺沢、坂本両教授（法）の4人、学生側からは代表団約50人、また司会は大学側から田村教養学部長、学生側から2人が出された。会場には終了時まで教職員約1,500人、学生約7,500人が参加、整然と議事が進められた。
13:45	地下鉄外苑前駅で機動隊に規制された駒場の共斗会議派学生はその後、国電千駄ヶ谷駅付近に現われ、同駅前で集会後隊列を整え、会場に向ったが、日本青年館前で機動隊と衝突、投石等を行なったため多数が逮捕された。
13:55	共斗会議派支援の中核派約230人が教育学部側面（社研側）のバリケードを排除にかかったが教育学部屋上からの投石にあい約5分後大講堂に引きあげた。
14:00	共斗会議派学生約350人が非武装で正門から出構、つづいて約150人が出構秩父宮ラグビー場に向った。
14:30	秩父宮ラグビー場の“7学部集会”に共斗会場派学生約20人が入口を突破して乱入し、その後次第に数を増し約100人に達し、グランド内においてデモを行ない時おりスタンド内に突入を試みたが、多数の教職員、学生によって阻止された。
15:30	上記集会は時間の都合で一部の議事を打ち切って終了した。この後、加藤総長代行は国立テニスクラブのロビーで新聞記者と会見を行なった。
16:30	大講堂から日大を含む他大学生約150人が非武装で病院方面に向ったが、竜岡門から出構した。
17:10	社学同（早大）約100人が医学部1号館に入る。
17:10-19:50	大学側と7学部学生代表団との団交が開かれた。 席上加藤総長代行は10項目にわたる確認書に署名し、学生側は署名のためこれを持ちかえた。

21:05	駒場構内では明11日の代議員大会々場に予定されている寮食堂の争奪をめぐり、同会場を封鎖しようとする共斗会議派学生およびこれを支援する他大学生約1,500人と、これに反対する民青系、一般学生約1,500人がそれぞれ集結した。共斗会議派学生は角材、鉄パイプで武装、投石よけ楯をもち、まず明寮を攻撃、また第1研究室への侵入をはかり投石合戦の後、午後9時20分明寮1階を占領し、午後9時50分には2階に突入した。 さらに午後10時10分頃には寮攻撃、午後11時には正門守衛室を占拠し、午後11時30分には北寮をも攻撃したが、民青系の反撃にあい後退し、その後構内に両派が相対峙のかたちとなった。
23:27	本郷構内ではこの夜共斗会議派学生の大部分は駒場に出向いた。民青系学生は構内各拠点に分散していたが、完全武装し教育学部に約1,600人が集結後、大講堂の封鎖解除を唱え学内デモに移った。
23:30	民青系武装学生銀杏並木に到着。直ちに法学部25番教室、同31番教室の封鎖解除にかかり、バリケードを撤去。
23:45	上記学生大講堂を包囲し投石を開始した。

1月11日(土)	(本郷構内関係)
0:05	民青系武装学生は大講堂の攻撃を続行、共斗会議派学生も投石を行なった。
0:30	法学部25番、31番教室を民青系学生が解放した。
1:40	大講堂を攻撃中の民青系学生は共斗会議派学生に対し、午後1時50分までに退去するようマイクで通告し、大講堂に突入する構えをみせる。これに対して共斗会議派は石、火炎ビン*、器物などを投げ応戦した。
2:25	民青系学生攻撃を中断、教育学部に引きあげた。
7:30頃	共斗会議は救援のフロント、中核派学生約250人が武装して竜岡門から入構、大講堂に入った。
9:00頃	民青系学生約350人大講堂に対する投石を再開、共斗会議派学生もこれに応戦した。
9:30頃	民青系学生約60人法学部研究室の封鎖解除。
9:30-14:00	工学部列品館、同1号館の一部(土木)、同2号館、同8号館、同7号館の封鎖解除。
12:35	大講堂から共斗会議派学生(赤ヘル着用のみ)約200人が出て竜岡門を出構、駒場に向う。
13:00	工学部2号館講堂において同学部学生代表団主催の報告集会が開かれ、在籍学生の過半数の賛成により認められていた学生投票による①「1・10確認書」批准②無期限スト解除③封鎖の解除等の議案書の審議が行なわれ、一部修正後学生投票にかけられることになった。
13:50	共斗会議派学生が硫酸、火炎ビン*を搬入するとの情報が入り、民青系武装学生が正門に約80人、竜岡門に約100人が配置され監視にあたる。

14:00-21:00	教育学部において同学部学生大会が開かれ、同学部学生代表、同自治委員会共同提案による①「1・10 確認書」の批准案が賛成 41、反対 0、保留 0 で可決され、②スト体制解除、封鎖解除と入試の実現等の案が賛成 35、反対 3、保留 8 で可決され③安田講堂の封鎖解除の緊急決議が賛成 41、反対 0、保留 0 で可決された。
14:00-18:50	理学部 2 号館講堂において同学部学生大会が開かれ、210 人が参加し自治委員長および自治委員有志提案の無期スト解除案を賛成 153、反対 26、保留 32 で可決し、また「1・10 確認書」の批准を行なった。 なお、ほぼ同時に理大学院生大会が化学新館講堂で開かれ執行部提出の①封鎖解除に努力し、管理運営機構の民主化と教室の民主化押進との提案を賛成 165、反対 5、保留 34 で可決しさらに②「1・10 確認書」の批准を賛成 162 反対 10 保留 33 で可決した。
14:15-14:30	農学部 1 号館、2 号館、同 3 号館、農芸化学新館のバリケードが農学部有志連合および民青系学生約 120 人により撤去された。
15:30-17:10	農学部 2 号館 1 番教室で同学部学生大会が開かれ 207 人が参加し、農学部学生代表の①「1・10 確認書」を批准し、ストを解除する②入試を実施せよ等の提案が賛成 134、反対 38、保留 27 で可決した。 なお、学生大会と併行して同 2 号館 2 番教室で農大学院生総会が行なわれ、確認書の批准、今後の運動方針について論議が行なわれた。
15:30-19:30	薬学部において院生集会とこれに引き続き薬院生総会が開かれ「1・10 確認書」の批准が行なわれた。続いて次の 2 決議が行なわれた。 ①封鎖解除要求（参加 76 + 委任状 19 で賛成 65、反対 5、保留 5） ②入試実施に関する決議（参加 71 + 委任状 22 で賛成 61、反対 0、保留 9）
15:55	民青系大学院生約 50 人が総合図書館の封鎖を解除
16:45	民青系武装学生約 100 人大講堂付近をデモ
17:40	共斗会議派学生約 600 人が駒場を出構、内約 300 人が本郷 3 丁目付近に到着したが、非武装のため入構できず待機中（その後午後 9 時すぎ入構した）
18:10	民青系武装学生約 250 人が正門付近を警戒する。
19:30	上記学生のうち約 200 人が大講堂に散発的に投石したが、一般学生に混った共斗会議派学生（非武装）が、これに投石を行なったため民青系学生は反撃せず後退した。
20:30	正門付近を警戒中の民青系学生約 100 人に対し、共斗会議派のゲリラが激しく投石を行なったため民青系学生は教育学部に引きあげた。
21:00	共斗会議派学生約 400 人（内武装約 100 人）が正門付近にバリケードを構築した。
21:30-23:00	共斗会議派学生約 500 人が大講堂と正門の間をデモし氣勢をあげる。民青系学生約 2,000 人は教育、経済、理 1 号館、2 号館、第二食堂の各拠点に入り防衛体制を固める。

22:00	反帝学評約 50 人正門から入構、また午後 10 時 30 分日大共斗約 30 人、専修大生 15 人が正門から入構、大講堂に入る。
23:25	教養学部とみられる約 500 人が赤門から入構、教育学部に入る。
	(その他) 午後 1 時 50 分頃国電お茶の水駅前で中大学生会館から東大へ向う小型乗用車を神田署員がみつけ、乗車していた男 3 人をレッカー車を出動させ車ごと同署に運んだ。同車内から火炎ビン*数 10 本、爆竹、塩酸のビンが発見された。

1 月 11 日 (土)	(駒場構内関係)
5:00-6:00	寮の北側で共斗会議学生と民青系学生が衝突、たがい石や燃えている木などを投げ合う。
6:40	民青系学生、明寮と 3 号館との間に進出、体育テニスコートの共斗会議派学生と 3 号館東のバリケードをはさみ投石合戦を行なう。
10:00	正門は共斗会議派が閉鎖中
11:35	早朝から計画されていた両派の抑留者交換が教官立ち合いのもとで実現、共斗会議派から 7 人、民青系から 8 人が引き渡された。
11:45	正門前広場で共斗会議派学生約 250～300 人が集会、各大学代表が連帯の挨拶を行ない、デモして第 8 本館に引きあげた。
13:00	民青系は寮浴場の屋根瓦をはがし、寮食堂・寮に運び込み、共斗会議派は第 8 本館に石や水を運び上げた。
13:40	北寮屋上で駒場代議員大会が開かれ、代議員 523 人（定足数 425）が参加した。 同大会では議長に牛久保秀樹（クラス連合）を選出後討議に入り同学部代表団の①「1・10 確認書」を確認し、無期限ストを解除し、新たな斗争方針を確立して闘かう。②当局の誠意ある実行を保証するものとしてスト権を確立する③行動隊を組織して封鎖を解除④付帯事項。以上の代議員大会の提案が可決されたが、確認書を批准し、無期限ストを解除、再度スト権を確立する重要な決定であるため代表団のもとで全学投票にかけて信任を問うという提案を賛成 491、反対 11、保留 21 で可決し、また有志のスト継続提案を賛成 14、反対 442、保留 67 で否決した。
17:20	上記大会終了。
17:50	第 8 本館前で小規模の投石合戦あり。 その後教職員会館占拠中の社青同解放派は全員撤収、第 8 本館の駒場共斗会議本部に合流した。

1 月 12 日 (日)	11:30	早大の革マル派約 300 人が大型計算機センター前に非武装で集合、別にトラックで運んだ武器により武装を整え、午後 0 時 10 分弥生門から入構し、大講堂に入った。
	12:30	革マル派学生は法文 1 号館および同 2 号館を再封鎖し、さらに銀杏並木と正門までの間とアケードを含め両側にバリケードを築いた。

		また、午後3時頃からは反帝学評系学生は、工学部1号館、2号館、7号館、8号館、列品館を再封鎖した。このほか法学部研究室も再封鎖された。
13:00-16:00		教育学部において院教協の院生総会が開かれ、院教協委員会の①「1・10 確認書」の批准提案を賛成 59、反対 0、保留 2 で可決②封鎖解除実行委をつくる③封鎖解除、大学の機能の回復、大学民主化をやり抜くため研究放棄で闘うの 2 提案をそれぞれ賛成 51、反対 0、保留 10 で可決した。
13:10		ML 派学生が正門の桁に毛沢東の肖像写真を掲げるとともに「ML、毛沢東万才・マルクス中央委」と記した赤旗 1 本を掲出した。
14:20		ML 派学生が正門外側門柱に白ペンキで「帝大解体」「造反有理」と落書を行なった。
15:15 頃		理学部 2 号館講堂において法学部学生大会が開かれ約 420 人が参加した。
15:40		民青系学生はマイクを使い「昨日共斗会議派はトラック 1 台分の材料を大講堂に搬入、現在盛んに火炎ビンを製造している。我々は一週間以内に講堂を解放する」と述べていた。(赤門付近)
16:45		赤門付近民青系学生約 200 人、法文 1・2 号館付近革マル派学生約 100 人それぞれ武装して待機している。
17:45		正門に共斗会議派武装学生約 20 人がきて同守衛所を占拠し、自由管理と称し正門を固める。
19:30		弥生門に共斗会議派学生 3 人がきて、大門を開き幌付トラックを誘導して入構させ、工学部方面へ向った。
20:00		駒場構内において民青系、クラス連合の学生約 500 人が第 5 本館を戦術上占拠し、バリケードを再築した。
20:15		法学部学生大会は①確認書の批准②学部団交の開催③封鎖解除の提案を可決、終了した。
20:30		駒場図学教室は防衛のため民青系学生が封鎖したが、続いて学生会館、1 号館、以上、封鎖解除と称し戦術的に占拠、第 1 本館、第 2 本館など封鎖されている建物を奪回していった。
22:20		革マル系学生約 100 人弥生門から出構。

1 月 13 日 (月)	6:30	駒場構内において、この頃から約 1 時間、共斗会議派と民青系との間で投石さわぎがあった。
	8:00	駒場 5 号館、1 号館と第 8 本館との間で両派散発的に投石、午前 8 時 40 分頃にも発生。
	10:30	本郷正門は社会学系学生 6 人が自主管理中。
	12:00 頃	民青系学生約 100 人が医学部本館の封鎖を解除した。
	12:00 頃	共斗会議派学生数人が大講堂から書類(主として学生部のもの)を持出し、同講堂傍で焼去を始めた。
	12:45-15:15	駒場において共斗会議派学生約 50 人が正門広場で集会の後デモし、第 8 本館前に集結した。
	13:00-17:00	研究所長会議開催(地震研)

14:10	藤木教授から電話で共斗会議三吉事務局長に対し大講堂の書類に手をつけないうち申し入れた。
14:10	大講堂前で“1・13 総決起集会”が開かれ、共斗会議派学生約40人が集合、討論を行なっている。
14:10-18:30	薬学部において同学部学生大会が開かれ、学生108人が参加した。同大会では討論の後、提案採決を行ない、有志の「ストライキ解除を行ない、今後は薬学部内に改革委員会を設け、よりよい大学の建設に努める」との提案を賛成56、反対36、保留11、棄権2、で可決し、終了した。
15:00 頃	経済学部一般学生が民青系の他学部、他大学生に退去を要求したため、これらの学生は全員退去した。
15:15	山上会議所警備員詰所へ中核派武装学生約30人が押し入り寝具(敷布団、掛布団、各22枚毛布4枚)をもち去る。
15:30	医学部中央館3階に医共斗会議学生がバリケードを築く。
16:00-19:00	駒場において基礎科学科学生大会が開かれ、①スト解除案を賛成52、反対44、保留3で可決し、②「1・10 確認書」批准を賛成47、反対43、保留4で可決保留したが、その後議長採決で批准を決定した。
16:30	工学部7号館前に同学部教職員、院生、学生約100人が集合、同館および8号館の封鎖解除の呼びかけを行っていたが、大講堂前の1・13 総決起集会参加の共斗会議派武装学生約100人(中核、社会学同、反帝、フロント)が民青一右翼の封鎖解除粉砕を呼び掛け、教職員、院生、学生を追散らした。
17:15	工学部7号館裏陸橋で民青対共斗会議の投石合戦が行なわれた。
20:10	教育学部前に民青系武装学生約150人が集合し、医学部本館、経済学部周辺をデモし、理学部2号館に入る。
20:30	教育学部にヘルメット約540ケをトラックで搬入。
22:00	民青系学生約50人がデモし、第2食堂に入る。
22:40	民青系武装学生約70人教育学部からデモを起し、病院前を通り、理学部1号館に入る。途中医学部中央館通過のさい屋上から投石があった。
23:00	加藤総長代行の「衝突阻止を訴える」と題した声明を学内各所に掲示した。
23:40	竜岡門から中大、法政大の旗約80本をもった他大学からの支援部隊約2,000人(内ヘル着用約1,000人)が入構し、大講堂前で右翼・民青粉砕を叫び集会を行なった。
24:00	工学部学生は赤門前で①「1・10 確認書」の批准、②無期限スト解除等の学生投票を行なったが、これを締切った。

1月14日(火)	(本郷構内関係)	
0:00-5:30	13日午後12時終了した工学部学生投票は予め公募した立会人7人の手で開票された。 開票結果の責任は立会人が負い、立会人のサイン入り開票結果確認書は代表団が保管した。 開票結果(在籍1,675 過半数858)	7人

	投票総数 1,056 有効投票数 1,040 賛成 968、反対 30、保留 42、無効 16 以上により①「1・10 確認書」批准、②スト解除③封鎖解除 ④入試を実現させる、とする工学部学生代表団の提案は可決 された。
0:20	13 日午後 11 時 40 分入構した共斗会議支援の中大生約 1,000 人は 竜岡門から、法政大生約 1,000 人は正門から出構した。
10:26	学部長会議開催（医科研）
11:00	加藤総長代行の「衝突阻止を訴える」との声明を発表した。
13:00-17:00	経済学部 2 番教室において同学部学生大会が開かれ、同大会では 討論の後提案採決に入り、経斗争実行委書記局から「1・10 確認 書」の批准案が提出されこれを可決、さらに①同実行委書記局案 （全共斗の暴力糾弾、学内正常化、封鎖解除、入試実施）を賛成 170、反対 21、保留 28 で可決②同実行委書記局緊急提案（学生大 会を 2 週間以内に開催）を賛成 224、反対 0、保留 1 で可決、ま たゼミ連緊急提案（9 日の日大全共斗など外人部隊を含む全共斗 の経済学部に対する襲撃を断固糾弾し、この襲撃を先導した経斗 委の一部諸君の自己批判と謝罪を求める）を賛成 195、反対 2、 保留 19 で可決し、終了した。
13:37	学部長会議終了（医科研）
13:【記載なし】	評議会開催（々）
14:35	大講堂へベニヤ板、平板が小型自動車 1 台分搬入された。
14:50	経済学部裏側に全学連絡会議の学生約 30 人が集まり、集会を開く。
16:30	共斗会議派学生（中核・反帝学評）約 100 人が、弥生門を制圧後、 器材調達課に押しよせ、同課倉庫から布団、毛布、軍手、脱脂綿、 サラシ、消火器等を大量に持出し、また合同車庫からガソリンを 持出し乗用車（多摩 5 は 99-27）、リヤカー等で大講堂に運び去った。
17:00 頃 - 21:40	医学部本館講堂において医学科学生大会が開かれ、213 人が参加 し、保健学科からも 6 人がオブザーバーとして参加した。 同大会では討論の後、執行部提案の①「1・10 確認書の承認②医 教授会に対して 10 人の執行委員と交渉に応じ要求を認めよ。③ 確認書批准のため 2 人の正式代表を選出する④政府文部省の直接 介入反対などの議案を賛成 183、反対 3、保留 13 で可決した。 つづいて「不法な封鎖を全東大人の力で解除する」という緊急提 案を賛成 181、反対 2、保留 13 で可決し、また本日の大会成功に 協力した同学部以上の学友に対する感激決議を行ない、終了した。 なお、この学生大会中、同本館に民青系防衛部隊約 200 人、教育 学部には約 500 人、理学部 2 号館には約 70 人が配置され、警戒に あたった。
17:17	評議会終了（医科研）
17:30	大講堂前で全国動員の反民青各派学生の受け付けを行なっている。 また法文 2 号館前ではたき火を囲み共斗会議派学生約 10 人が屯 している。
17:55	赤門から民青系学生約 200 人が入構し、教育学部に入る。
18:00 頃	機動隊が池の端門外で待機している。

18:00 頃	各門に「本日午後6時より16日午前10時まで本郷構内に学外者は立入り禁止、本学学生も立入らないよう」との立看板を掲出し、各門の大門を警備員が閉鎖した。
18:00 頃	加藤総長代行記者会見（神田学士会）
19:57	民青系武装学生が教育学部前に約1,000人、医学部本館前に約500人が集結し、図書館周辺を一周デモし、午後8時27分終了、教育、医学部本館、理学部2号館に分れ入った。
20:35	器材調達課の油槽タンクを共斗会議派学生数人が物色したが、油を抜き出すことはあきらめ退ち去った。
21:27	社学同派学生（中大）約120人正門から入構。
21:35-22:10	共斗会議派支援学生約140人が正門から入構。
22:20	共斗会議派の3人の斤候が教育学部付近で民青系に発見され2人は逃去したが、1人は捕えられ暴行をうけたもよう。
22:35-24:00	共斗会議派支援学生約60人が正門から入構。
23:00	共斗会議派学生約15～16人が病院外来付近の路上の敷石をはがし大講堂に運び込む。
23:50	社学同 ML 派学生が工学部列品館のバリケードを構築中。
24:00	共斗会議派およびこれを支援する各派学生は約2000人以上が泊り込みを行なった模様。

1月14日(火)	(駒場構内関係)	
10:00 頃	民青系、クラス連合等の学生は正門を開き広場の清掃を始めた。これに対し共斗会議派学生は第1本館西側から出撃して民青系を1号館方面に追い払い正門を閉めた。この後正門および広場の確保をめぐり、両派の衝突が数度にわたり繰り返されたが、一進一退の後正午共斗会議派は第8本館内に追いつめられ、一応平静に復した。このための負傷者は両派それぞれ20人程度に達した模様。	
14:30	民青系、クラス連合等の学生多数が社青同派の撤収によって無人となっていた教職員会館の封鎖解除にかかった。	
16:30	医療センターと青医連との間に交渉が成立し、第8本館に負傷者の手当のための医療品が搬入された。	
17:30	共斗会議派のシンパらしき学生約100人が正門付近で非武装デモ、他方民青系等の学生約50人も武装デモを行なった。	
18:00	非武装の上記デモ隊は第8本館の共斗会議派の武装学生に合流投石を開始した。このため一般学生のなかに負傷者が出た。その後共斗会議派は第8本館前で集会を行なったが、非武装の共斗会議派シンパは同本館前のバリケード内にとどまり、両派の対峙する中間地帯を占めるかたちとなった。	

1月15日(水)	(本郷構内関係)	
8:40	社学同系学生約100人が弥生門を閉鎖、つづいて日大、早大約200人がこれを支援のため集結し、工学部3号館、器材調達課付近からドラム缶、ロッカー等を持出し、大門、小門の内側にバリケードを築き、完全に封鎖し、午前9時10分退去した。	

9:30 頃	法学部研究室に中核派および4 トロ約 130 人が乱入し、バリケード封鎖を大々的に強化した。 バリケードは北側の入口、1 階、2 階を進み、教官個室の扉を破壊し、内部の備品等を使用して行なわれた。
10:00-15:00	正門から共斗会議派の支援各派学生、反戦青年委約 1,120 人が入構した。
11:00	大講堂前に共斗会議派武装学生約 600 (内女子 70 人) 反戦青年委約 200 人が集結し、付近をデモする。
11:00	教育学部において学部長の要請により、学生が武器の撤去を始める。同建物内には本学学生約 300 人により防備している。
11:20	反帝学評武装学生約 50 人が理学部化学科新館から大講堂南側路上にかけてバリケード構築また理学部化学新館の油送管から重油を抜きとる。
11:30	農学部正門から駒込方面にかけ機動隊の車輛約 40 台が集結している。
11:45	社学同武装学生約 50 人が病院寝具部を襲い、寝具(毛布 72 枚、敷布団 200 枚、掛布団 60 枚、枕多数)を持ち去る。
12:20	理学部 1 号館に反帝学評約 100 人がきて内約 30 人が中に入り、バリケード用資材を持ち去る。
12:55	共斗会議派学生約 500 人が大講堂前からデモを起し、大講堂—正門—図書館—正門—大講堂のコースで行進した。
13:00	大講堂前で“1・15 東大斗争勝利、全国学園斗争勝利労学総決起集会”が開かれ、共斗会議派とこれを支援する学生・労働者約 3,000 人が結集した。
14:15	社学同・反帝学評学生約 80 人正門から教育学部前、医学部本館前をデモ、教育学部前で立看板を破壊後赤門を出構し、正門から入構した。
14:40	共斗会議派支援の青山学院、明治学院大生約 70 人が教育学部前をデモし、同学部の玄関扉を鉄棒でなぐる。 これをみて一般学生が「帰れ、帰れ」のシュプレヒコールを行なったが、数人が暴行をうけ負傷した。上記支援学生は午後 3 時頃薬学部方向に移動した。
15:30	大講堂前の総決起集会終了、各派別に討論続行。
15:40	教育学部地下に小型トラック 5 台で食糧を搬入した。同学部には約 1,500 人が再び集結している模様。
15:45	社学同系学生約 250 人、大講堂南側路上のバリケードで集会し、「大講堂が落城した時は中央を拠点として最後まで闘う」との宣言を行ない、理学部 1 号館傍をデモした後正門から出構した。
16:00	大講堂前の各派の討論を終了、大学別にデモに移り構内を教育学部中心にジグザクデモし、午後 5 時頃までに約 2,000 人が出構し、中大学生会館に向った。
16:00	社学同 ML 派約 50 人が工学部列品館を占拠し、同館のバリケードを強化し要塞化を行なった。

16:00	反帝学評を主力とする約 150 人が理学部 1 号館に教官の制止を振り切って侵入した。このため教官は各部屋の戸締をした後退去した。この後学生は同館を占拠した。
16:25	社会学部学生が弥生門周辺の敷石をはがし、同門守衛所および合同車庫の屋上に運び上げ、さらに同門のバリケードを強化した。また変電所内の鉄パイプを運び出す。
17:10	社会学部学生約 150 人が弥生門で軍事的訓練を行なった。
17:50	プロレタリア軍団約 100 人が、教育学部、医学部本館付近をデモし、投石を行なった。
18:10	大講堂前から共斗会議派学生約 800 人（非武装）がデモを起し、赤門、教育学部前、医学部本館前で散発的に投石を行なった後銀杏並木に向ったが、再びデモし医学部本館前で同館守備の民青系学生とヤジの応酬を交わしたが、大講堂前に引きあげた。大講堂前から引き続き武装した約 150 人がデモし教育学部、医学部本館を廻り大講堂に戻る。
18:30	大講堂は約 1,000 人が集結している。
19:30	同講堂前約 300 人がたき火を囲み屯している。他は正門から続々出構している。
19:50	共斗会議派学生約 200 人（内武装約 100 人）が医学部本館の攻撃、約 30 人が同館正面の鉄扉を破壊にかかる。同館防衛の民青系学生約 200 人は 2 階ベランダからこれに対し放水すると共に双方投石を繰り返す。その周辺では共斗会議派シンパ、ノンセクト学生等約 500～600 人が遠巻きに観戦している。
20:10	医学部本館前のバリケードを共斗会議派が撤去、正面玄関を角材等で乱打し、また同館裏側にも約 15 人がまわり投石を行なった。教育学部にも投石が始められた。
21:00	正面玄関の 2 個所に穴が明けられたが、内部のバリケードにより侵入は困難、教育学部への投石は散発的となる。なお、玄関の鉄扉を酸素ガスを用い焼き切ろうとしている。
21:20	機動隊（3 隊 240 人）本富士署付近に待機中。
21:30	共斗会議派学生攻撃を中止、デモし大講堂に引き上げた。同講堂前では総括集会を開き①本日民青系を追放しえなかったことは失敗、しかし赤門を解散したことは成果であった。② 21 日までは必ず民青系を構内から追放するとリーダーが述べた。
22:00	上記集会を終り、学内に分散した。

1 月 15 日 (水)	(駒場構内関係)
8:50	民青系行動隊約 100 人が正門広場で集会を行なった。

12:40	第8本館から共斗会議派学生約100人（非武装約25人はヘル着用）が本郷の集会に参加すべくバリケードを取り除いて脱出を試みた。民青系、クラス連合等の学生はこれを取り囲み、今村自治会委員長を含むその一部を捕えたが一部は脱出に成功した。この騒ぎのさなかに民青系等の一部学生が、第8本館にとりつき封鎖解除にとりかかった。このため午後2時40分頃まで激しい攻防戦が続く。投石のため民青系等は20人ほどの負傷者を出した。封鎖解除の試みは第8本館の1階まで進んだところで休戦状態となった。この間共斗会議派シンパと思われる学生たちの要請があり、平井評議員以下数人の教官が寮食堂におもむき①捕えられた学生をリンチしないように②なるべく速やかに彼等を解放するように申し入れ、また今村委員長に対する説得も行なわれ、多少の曲折を経て民青系側は捕えた学生の無条件解放に同意し、今村委員長は第8本館に帰った。平井評議員と西村学生課長はこれに同行し、第8本館に入って投石中止を説得したが、同意をえられず午後3時頃引きあげた。
20:00 頃	民青系行動隊約250～300人が構内をデモした。

1月16日(木)	(本郷構内関係)
9:30	①中核派学生約20人が正門の大門を閉鎖し、警戒にあたるとともに入構者の検問を実施している。 赤門、竜岡門、池の端門は正常で通行可能、弥生門は全門が閉鎖され門内にバリケードが設けられたままで通行不能の状態である。 農学部構内、同学部に通ずる陸橋は正常で通行可能である。 ②大講堂前は共斗会議の見張りが数人、銀杏並木から大講堂周辺はバリケードが構築されている。 ③経済学部玄関前民青系学生約50人が屯し、医学部本館に民青系学生が物資を搬入しているのが認められた。
9:55	赤門から民青系学生約150人が入構し、教育学部に泊り込みを行なった学生と交替を行なった。
10:15	共斗会議派学生（赤ヘル着用）約15人が医学部本館に押しかけ、内外で投石合戦、ヤジの応酬を行なったが、午前10時35分引きあげた。
10:30	東工大から共斗会議派支援の同大学生は午後日大法学部に集結、情勢により東大に向うとの情報があった。
11:05	社会学系学生約30人が工学部3号館から資材を持出し、弥生門のバリケードを強化し、さらに器材調達課の薬品庫の鍵を壊し侵入したが、廃油のオイルだけなのを認め、見張り1人を残し、午前11時15分引きあげた。 なお、器材のトラック積載のままの台ハカリ所の窓ガラス2～3枚が壊された。
13:00	大講堂前で中核派70人、社会学同20人、フロント10人がそれぞれ集會中。
13:20	大講堂前で集會の中核派約60人がデモを起し、民青粉碎を叫び法文2号館裏—図書館—社研—図書館—法研—銀杏並木—大講堂のコースで行進した。

14:30 頃	経済学部裏で全学連絡会議が集会を開き、午後3時30分頃から約25人が赤門―図書館―法研―経済学部裏のコースでデモを行なった。
14:30-19:00	大学外で医学部保健学科3年および4年学生の合同クラス会が開かれ、「1・10確認書」批准のための討論がなされ、その結果26項目中、21項は可決され、3項(5の2、5の4、10の3)は可決保留、2項(2、3の2)は保留となった。
15:23	学部長会議開催(国大協)
15:30	赤門付近で教育、理、農、法自治会、東院協主催の“1・16東大斗争勝利、封鎖解除全学総決起集会”が開かれ、約250人が参加した。
16:40	上記集会終了、デモに移り約300人が経済学部周辺を廻り、午後4時50分頃解散した。
16:40 頃	トヨエース1台で布団を大講堂に搬入した。
17:20	医学部本館に民青系学生約40人が入る。
17:25	社会学系学生約100人が武装して大講堂前から理学部1号館付近をデモし、大講堂に戻る。
18:20	工学系大学院生約20人武装して図書館―赤門―教育学部―社研―大講堂のコースでデモを行なった。
18:35	学部長会議終了(国大協)
18:40	大講堂の3・4・5階の窓にすべてベニヤ板を打ちつけている。また投石用の石を作成中と思われる音が翌朝まで聞かれた。
20:10	教育学部に中型トラック(多摩4、48-19)が到着寝袋100ヶを積載し赤門を出構した。 また民青系学生25人が続いて午後8時12分約50人が赤門から出構した。
20:17	中型トラック(品4、32-63)が赤門から入構、理学部2号館から布団を満載して午後9時20分頃赤門を出構した。 また7人位が手打車で敷石を搬入している。 法研東角では8人がロープで屋上に石を搬入している。
21:25	東京都の人夫が正門前の歩道の敷石を撤去している。
21:40-24:00	教育学部前で民青系学生が印刷物を焼却。
23:55	川田弘報委員長、井出助教授(社)が山上会議所において約15分記者会見を行なった。
	(その他) 前日につづき共斗会議派およびこれを支援する各派学生は各建物のバリケードや防備を強化した。各建物の屋上には膨大な量の石やコンクリート塊を運び上げられ、また火炎ビン*やダイナマイトさらにニトロ系化合物などの持込みも噂された。このような情勢から加藤総長代行は凶器危険物の除去、退去命令に応じない不法占拠者の排除およびそれに伴う必要な措置をとるため同夜午後8時45分警察力の出動を要請した。

1月16日(木)	(駒場構内関係)	
	11:00 頃	機動隊がキャンパス周辺に出動した。
	12:30	共斗会議派学生約 20 人が野球場の塀をのりこえ構内に入り、第 8 本館北側から食糧を投げあげた後、野球場の門から退去した。
	13:00	一般学生がパトロール隊を組み、構内外を巡視した。
	16:00	非武装の共斗会議派学生約 300 人が明大和泉校舎から到着、正門広場で集会、デモを行なった。正門での一般学生の抵抗線は簡単に破れた。
	16:30	共斗会議派のデモと民青系等の学生との間で小規模のなぐり合いが起ったが、約 10 分後共斗会議派は正門外に出、民青系等の学生は正門内側にバリケードを築いた。負傷者 6 人が生じ、共斗会議派の学生 3 人が捕えられ寮方面に連行された。

1月17日(金)	(本郷構内関係)	
	10:00	理学部 1 号館を占拠していた社会学部学生約 50 人が裏口から退去、大講堂に入る。このため社会学部教職員が入って裏口のバリケードを撤去した。
	10:19-11:15	学部長会議開催 (海洋研)
	11:00 頃	中核派の学生約 10 人が庶務部入口付近にプラスター約 20 袋を集積し、そのうち若手を法研に運搬した。
	11:22-13:28	評議会開催 (海洋研)
	12:00	理学部 1 号館は理学部および理系斗争委を主とする共斗会議派学生により再び封鎖された。
	13:00	中核派の学生数人が庶務部入口および法研でそれぞれプラスターと砂を練り合せている。扉の封鎖強化を図る模様。
	13:05	共斗会議派学生正門を完全に閉鎖。
	13:50	正門前で機動隊約 200 人が待機し、共斗会議派学生とにらみ合いの状態。フロント 1 人が逮捕された。
	14:30	共斗会議派学生約 10 人コンクリート打ち用のセキ板を鴻池組工事現場から持出し、大講堂に搬入した。
	15:05	赤門付近で有志連合の学生 30 人が集会後共斗会議派説得のため大講堂に向った。
	15:40	医学部本館前に社会学部芝浦工大生約 50 人が武装して集合、赤門付近にいた共斗会議派の非武装学生約 90 人と合流し大講堂に向い、同講堂前で集会を行なう。
	17:10	学内各拠点から共斗会議派およびこれを支援する各派学生約 400 人 (約 200 人は武装) が病院前—第二食堂—理学部 1 号館—工学部 6 号館—銀杏並木—大講堂のコースでデモし、その後約 300 人が集会に入る。
	18:43	上記集会終了。2 回にわたり学内デモを繰り返した。大講堂前に“1・18 全国労学総決起集会”の立看板が掲出された。
	20:15 頃	正門方面から共斗会議派約 100 人が赤門までデモし、再び正門に戻る。

20:40	日大共斗の学生（銀ヘル着用）約 40 人が正門から入構、大講堂前に集結した。
21:20-21:45	加藤総長代行神田学士会で記者会見を行なう。
21:30	社学同系学生約 150 人が大講堂前でデモ。
23:00	学内各所に下記立看板を掲出した。 要旨「本郷構内の凶器その他危険物を排除し、また凶器等を使うおそれのある建物の不法占拠者を排除する必要がありますので、特に大学の許可を受けた者以外は学外者・学内者を問わず直ちに全員本郷構外に退去し、1 月 19 日午前 10 時までは本郷構内に立ち入らないで下さい。1 月 17 日午後 11 時 東京大学総長代行」
23:00	大学弘報車が構内を巡回し、上記の趣旨を放送した。

1 月 17 日 (金)	(駒場構内関係)
9:00 頃	第 8 本館周辺で民青系学生 10 人数人がトタン板などを石で叩き「封鎖解除」を連呼、屋上からはこれに対して時折投石を行なった。
12:00 頃	共斗会議派学生約 100 人が正門外に現われ、シュプレヒコールとデモを行なった。
14:30	上記学生約 200 人が再びデモを行なった。 午後から夜にかけて第 8 本館封鎖学生の母親らしき婦人が何人か第 8 本館付近にきて、内部の学生と話し合いを行なったり、食糧の差し入れをした。
17:30	第 8 本館から共斗会議派学生 10 人が教官立ち合いのもとに学外に退去した。同館の水、電気、ガスは民青系の手によりすべて断たれている。 この夜ガラスを殆んど破り、兵糧攻め、寒気攻めの作戦をとっている。

1 月 18 日 (土)	(本郷構内関係)
6:30	警視庁は東大当局の正式要請により本富士署内に総合警備本部を設置し、第 1～第 8 機動隊までの全機動隊、各方面機動隊などの 8,000 人と私服警官 500 人、計 8,500 人を東大周辺に配置した。
6:30	施設部設備課職員が共斗会議派およびこれを支援する各派学生が占拠中の建物およびその周辺の建物の送電を停止し、また午前 6 時 45 分には給水を停止した。
6:50	農学部正門から機動隊が入構し、陸橋を渡り工学部付近に進出した。
7:03	竜岡門および池の端門から機動隊入構。
7:05	赤門から機動隊が入構し、同門内に集結。
7:00 過ぎ	工学部各号館は責任教官立ち合いのもとに機動隊による封鎖解除と不法占拠者および凶器の排除が行なわれた。 1 号館および 2 号館は捜査令状が出されており、捜査・検証が行なわれた。引き続いて教官、職員の手で 1・2・7・8 号館のバリケードが撤去された。なお、この間に 1 号館で不退去罪により学生 1 人が逮捕された。

	また午前8時50分からは列品館の不法占拠者の排除が開始されたが、同館に立籠る社会学部 ML 派の学生は機動隊に対して激しく抵抗し、投石のほか火炎ビン*やガス管を使った手製の火炎放射器*をも使用した。機動隊はこれをガス弾攻撃し、午前11時頃装甲車でバリケードをくずし、裏口と法文1号館から突入し、1階を制圧したが、2・3・4階に火災が発生した。このため消防車が出動した。午後1時すぎ火災の下火になると同時に機動隊は激しいガス弾攻撃とともに屋上に突撃した。この時学生の1人が法文1号館屋上の機動隊に「ガス弾の直撃により学友の1人が負傷した。攻撃を停止せよ。無条件降伏する」と呼びかけた。その直後機動隊員が屋上にかけ上り、学生全員を逮捕した。逮捕者は32人（内女子3人、また重傷者は2人）であった。
7:10	機動隊理学部1号館に到着、責任者の教官が館内の不退去者に退去の呼びかけを行なった後、午前7時20分頃バリケードを破り表玄関から入った。内部には学生の姿はみえず、引き続き凶器などの捜査「1・9事件」およびそれに関連する事件の現場検証、証拠品の押収が行なわれ、これには教官が立ち合い、また学生・院生の自治会室、学生控室の捜査と証拠品押収には学生が立ち合い、理学部職員組合の部屋については、理職から立ち合い、午前11時30分頃すべての捜査が終了した。
7:12	機動隊の手により弥生門のバリケードが撤去された。
7:20 頃	竜岡門から入構した機動隊により医学部1号館、3号館の封鎖が解除され、医学部1号館では不退去者5人が逮捕された。医学部中央館では機動隊のガス弾攻撃に対し、医学部共斗会議派、社会学部等の学生16人が竹やりをもち4階から逃れ、屋上の塔に立籠り投石抵抗した。機動隊は学生が顔をのぞかせるとねらい撃つ戦術をとり、書庫階段から攻めのぼり、午前8時30分塔屋上に突入し全員を逮捕した。そのほか医学部本館では警察官による捜査のみが行なわれ、午後11時45分医学部関係は一応終了した。
7:40	工学部2号館付近に機動隊指揮官車が進出し、大講堂の学生に退去を通告した。学生は大講堂屋上に約50人が姿を現わす。午前8時機動隊は大講堂を包囲し、各所からガス弾の一斉射撃が始まり、またヘリコプターからも催涙弾が投下されたが、学生はこれを地上に投げ返し、散発的に投石を行なった。 午前9時機動隊の10数台の放水車が放水を開始したが、学生はこれに対して石塊を投下し抵抗した。 機動隊は引き続きガス弾と放水で攻撃した。ガス弾と放水で攻撃を続けた。
8:00 過ぎ	法学部では法文1・2号館の同学部使用部分に機動隊が入り、封鎖が解除され、また検証が行なわれた。続いて午前8時50分から法学部研究室に立籠る中核派、四トロの学生排除が行なわれたが、学生は屋上から激しく投石して抵抗した。機動隊はこれに対してガス弾攻撃の後、午前11時40分3階まで突入したが、学生は全員屋上に集まり、屋上入口にガソリンをまき、放火し機動隊の攻撃を阻止した。その後も学生と機動隊との攻防が繰り返されたが、午後3時35分機動隊は屋上に突入し、学生121人全員を逮捕した。

8:00 過ぎ	文学部では法文1号館（アケード西側部分）にある文学部教室、研究室について教官が立ち合い検証が始まったが、内部は学生がおらず検証は順調に行なわれ、鉄パイプ2〜3本とヘルメット若干が押収された。法文2号館については、午前9時頃から機動隊および捜査官とともに図書館側の研究室入口から屋内に入ったが、同館では革マル系学生14人が立籠り、3・4階から機動隊に投石するなど抵抗したが、まもなく屋上で全員逮捕された。同館の検証は「林文学部長監禁事件」に関係して2階の各室に重点がおかれた。凶器として角材数本が押収された。
8:15	教育学部では太田学部長が捜査責任者と応待し、捜査令状の提示をもとめた。午前9時15分令状が提示され、学部長はこれを確認した。機動隊は約100人が入り建物内を一巡し、引き続き鑑識員による検証が行なわれ午前11時20分に終了した。そのさいベニヤ製楯18個、軍手、手袋約150組、手拭11本、ヘルメット1個、角材1本、牛乳ビン3本、パンフレット106部、その他が押収された。
13:20	機動隊は大講堂に本格的な攻撃を開始し、放水とともに装甲車を庶務部入口付近に接近させ建物に突入の構えをみせたが学生側は石塊を投石し、また火炎ビン*を投げつけた。このため装甲車は炎につつまれ、一進一退を繰り返した。
14:35	大型ヘリコプターが大講堂上空に飛来し、ドラム缶に積んだ催涙液を大講堂屋上の学生に散布した。
15:20	機動隊は大講堂正面から攻撃を開始し、放水、ガス弾攻撃と同時に機動隊員が正面玄関前面に接近する。学生は投石、火炎ビン*で応戦した。
15:30	機動隊約50人が大講堂裏側2箇所から突入した。
16:10	機動隊は大講堂2階まで侵入した模様。
16:20	大講堂正面玄関に機動隊は接近し、電気ノコを使いバリケード突破をはかるが、学生は火炎ビン*、投石とともに薬品を投げつけ激しく抵抗した。
17:30 頃	機動隊は攻撃を中止し、大講堂内に突入した隊員を一時建物から退いた。
19:00	機動隊は大講堂周辺に放水車を配置し、翌朝まで散発的な放水を続行し、また構内各所に待機して警戒を行なった。
21:30	大学側は「退去命令を1日延長して20日午前10時までとする」という内容の加藤総長代行声明を発表した。
	(その他) 本郷構内各所における逮捕者は273人に達した。

1月18日(土)	(神田地区関係)
9:35 頃	明大学生会館から武装した東大斗争支援の学生約150人が国電お茶の水前派出所を襲撃し、約15分間ガラス戸を破るなどの乱暴を行ない引き上げた。

9:50 頃	中大から社学同系学生約 100 人がデモ隊形でとび出し、YMCA 前の敷石をはがし、中大周辺では同第 5 号館付近でもかなりの敷石を壊し、投石用に運び、同お茶の水駅前派出所に投石、この後駿河台下派出所にも押しかけ投石した。
11:00	日大共斗の学生約 50 人が同大付近でデモ、別の社学同約 150 人が中大付近でデモを続け、YMCA 付近で敷石をはがした。正午前機動隊がガス弾を発射して鎮圧にあたった。このため付近の交通が混乱した。
13:30	明大、中大に逃げ込んだ学生は約 1,500 人にふくれあがり「警視庁攻撃」を叫び、再び街頭に現われた。 このため東大から機動隊 900 人が増派され 2,000 人でこれを阻止しようとしたが、学生は明大前通りなどでバリケードを作り、投石して激し抵抗した。機動隊もガス弾で応戦した。 警視庁は午後 3 時前全員検挙を指令したが、学生は明大構内や跡地に逃げ込み、側面から投石するゲリラ戦術を行ない、機動隊も明大学生会館前に向けガス弾を打ち込むなどし、付近はガレキと催涙ガスに包まれた。
17:50	私服警察官 1 人が学生に捕えられ明大学生会館に連れ込まれた。このため機動隊 200 人が同館に突入し、学生を排除し負傷した警官を救出した。
20:00 過ぎ	投石していた学生の主力は中大に引き上げ「明日再び東大をめざす」と決議し、午後 10 時頃解散した。

1 月 18 日 (土)	(駒場構内関係)
9:20	駒場代表団系学生約 300 人が構内をデモ。
11:00	明大和泉校舎から共斗会議派学生約 50 人が正門前で坐り込み集会を行ない、駒場の学生も加わって 100 人を越えた。デモの後中大の集会に向った。
12:00 過ぎ	民青系学生が正門広場で集会を開き機動隊導入抗議と学生 3 人の釈放要求を行なったが、午後 3 時頃終了した。

1 月 19 日 (日)	(本郷構内関係)
6:00	機動隊大講堂周辺に再集結。
7:00	大講堂に向け放水車が放水を開始した。学生は投石、火炎ビン*で応戦するも機動隊は南側、北側から再び大講堂に突入した。
9:00	放水車の放水は大講堂 5 階まで達した。また大型ヘリコプターによる風圧攻撃も行なわれた。さらに機動隊は木造トンネルにジュラリミン製楯を置き、装甲車を接近させて隊員を続々と大講堂内に突入した。
9:20	学生は各階に通ずる階段に厚いバリケードを築き、投石、火炎ビン*、竹やりなどで機動隊に立ち向い、機動隊は講堂内でもガス弾を多数発射し、ロープや電気ドリル、切断機を使ってバリケードを次々に撤去し、正午頃には 2 階にいた 20 数人を逮捕し、午後零時 55 分頃には 3 階の学生部付近まで進出した。

13:50	大講堂南側の2階から3階に至る階段で激しい攻防が行なわれている。
14:45	3階のバリケードが撤去され、午後3時頃には大講堂内にいた学生200以上が逮捕された。
15:35	機動隊は4階から5階に進出、学生は北側屋上に出て抵抗を行なったが、約10分位で抵抗は停止した。
16:30	5階南側屋上に反帝学評が、6階バルコニーに社学同がそれぞれ集合、インターナショナルを合唱し、その後反帝学評のリーダーが演説を行なった。この間に機動隊は5階北側を制圧し、午後5時27分頃時計塔に突入した。
17:40	南側屋上および6階バルコニーに機動隊が突入学生60人を逮捕した。
17:45	時計塔屋上の共産同の学生数人も逮捕された。
19:00	警視庁公安部員が東大事務局、学生部職員立ち合いのもとに現場検証を開始した。
21:00	上記検証終了、多数の武器、資材(総計25件901点他敷石等14袋)が押収された。 なお、学生が構内に持ち込んだと噂されたニトロ系化合物や、ダイナマイトは発見されなかった。
	(その他) 1. 大学側は「本郷構内では事態を平静に復するためには、なお、一兩日を要するので1月22日午前9時まで教職員を除き、学外者、学内者をとわず、原則として構内への立ち入りを禁止する」旨を公示した。 2. 同夜からは機動隊1,000人が構内に駐留し、22日午前9時まで警備にあたることとなった。 3. 大講堂における逮捕者は469人に達した。

1月19日(日)	(神田地区関係)
9:00 過ぎ	明大、日大に泊り込んでいた東大斗争を支援する学生約800人が行動を開始し、中大で集会の後正午すぎには付近の石油スタンドや東京医科歯科大から持出したドラム缶、鉄パイプ、机、椅子で車道をふさぎ、国電お茶の水駅、明大通りを中心にして街路10ヶ所にバリケード封鎖を行なった。
12:50	お茶の水橋付近で都電を止めた学生は運転手、車掌を降して一時電車を占拠、本郷2丁目では機動隊と衝突、ガス弾に投石でわたり合い夜までに75人は逮捕された。さらにお茶の水駅前派出所は再び学生が占拠、放火され、湯島派出所も投石され、警官数人が学生に捕まり、つるしあげられ負傷者も生じた。このため国電お茶の水駅は一時客扱いを中止し、混乱した。

	18:42-20:00	本郷2・3丁目付近で2回にわたり学生と警官の衝突が起り、学生は火炎ビンらしきものを投げて抵抗した。バリケード封鎖は午後10時頃まで続いたが、機動隊は、学生がお茶の水駅前で総括集会を終り、拠点へ帰ろうとしたスキをつき一斉に進出し、バリケードを撤去した。
1月20日(月)	11:30	佐藤総理大臣および坂田文部大臣等一行が本学の状況視察のため竜岡門より来学、約1時間に亘り、加藤総長代行の案内により安田講堂、法研等を視察のうえ、同門より出構された。
	14:13-15:04	学部長会議開催(懐徳館)
	15:24-18:06	〃 (農学部図書館)
	21:21-22:50	〃 (懐徳館)
1月22日(水)	9:00	文・国史科の旗を持った学生5名が正門にきて検門中の教官の制止を聞かず構内に入り、人文系学生と合流約10名で銀杏並木をデモット。更に午前9時20分頃より時計台前において約35名余で集会を開き、午後10時40分頃に銀杏並木を再びデモット。
	12:10	共斗会議派学生約20名が正門付近でデモを行ない一時正門を占拠して大扉を開いたが、午後1時頃機動隊約60名がきてこれを排除し、再び扉を閉ざした。
	15:00	時計台前に共斗会議派学生約140名、隣り合せて民青系学生約80名が集会を開いた。時計台の塔の上に共斗会議派の赤旗が1本掲げられたが、講堂内を整理作業中の事務局職員数名により、午後3時30分頃引き降ろされた。時計台前で集会中の両派学生は午後5時40分頃それぞれ解散し、引きあげた。
	16:14-17:47	学部長会議開催(懐徳館)
	18:23-21:00	評議会開催(神田学士会館)
1月23日(木)	17:00	大講堂正面玄関ベランダに共斗会議派学生約20名がスクラムが組み赤旗2本を掲げてインタナショナルを合唱していたが、事務局職員等により午後5時15分追出した。
	17:25	共斗会議派学生約50名が医学部本館の方より文・アーケードを通り大講堂前にきて正門の方へデモっていた。 { 中核派行動予定 1・24 駒場共斗会議派総決起集会 25 本郷 〃 28 東工大 〃 東大奪還沖縄斗争総決起集会 2・4 東大奪還沖縄斗争労学集会 上記立看板正門近くに出た。
1月24日(金)	13:00	法文2号館裏口で文学部共斗会議派学生2名が法学部緑会学生約10名と激論し、文学部教官1名が仲介に入り静かに話し合うよう注意したが互に譲らず共斗会議派学生1名が顔面をなぐられ負傷した。

1月25日(土)	14:40	非武装の共斗会議派学生約150名が安田講堂よりデモつて正門にきて検門中の教官を内外に排除しようとし小競合いとなり、教官側に若干の負傷者がでる。門は一時彼等に占拠され、午後3時10分鍵をノコで切られて開かれたが、機動隊の出動により閉門した。
	14:00-17:53	学部長会議開催(資料館)
	16:30	安田講堂前の共斗会議派学生の集会約600名に増加し、午後4時55分集会を終り、法文2号館→図書館前→赤門→医学部本館前→病院前をデモり、大講堂前に戻って総括集会を行ない、午後5時30分頃解散した。

1月26日(日)	10:00	この日は学内・学外者を問わず構内の立入りを禁止し、竜岡門のみ医学部集会参加者のため検門を行なった。竜岡門で検門中の教官と学生の間に入構のことで若干もめた。白木医学部長外教官が医学部本館に入る。午前10時20分竜岡門で民青系学生と共斗会議派学生が約20分間激しく口論する。午前11時10分医学部本館大講堂に教職員・学生合せて約400名となり、同11時24分集会が開始された。
	11:25	共斗会議派学生約80名が構内でデモを始め、午前11時35分医学部本館入口にきて扉を叩き、窓等に投石し、同本館内部よりも放水・投石で応戦した。 この際投石により教官1名が怪我し救急車にて運ばれ、他の教官・学生数名が負傷した。更に本館南側の窓を破壊し、バルコニーに梯子をかけ館内に午後零時40分乱入した。午後零時45分会場の後方の扉が破られ、赤・白ヘルメット着用の武装学生と非武装学生数10名が会場内に乱入、代表団にせまり拡声器の奪い合いになり混乱したが、午後1時30分中井教授から本日の集会を中止する旨の発言があり、本館内にいる者に対し退去命令が出され一同退出した。
	12:45	大学当局は衝突防止、学外者ならびに武装者の排除のため警察力の出動を要請した。
	13:10	機動隊約350名は竜岡門より入り、医学部本館に到着、本館前に立ち並ぶ中を館内の学生はゆっくり外に出た。午後2時機動隊も館内に立入ることなく引きあげた。

1月28日(火)	10:07-13:11	学部長会議開催(総合研究資料館)
	13:38-16:26	評議会開催(図書館集会室)

1月29日(水)	13:30	共斗会議派学生の決起集会が法文2号館31番教室で開き、午後4時50分集会終了後、赤・白・青色のヘルメット着用の約13名を含め約30名の学生が法文1号館の教室より机・椅子等を持出して、午後6時5分法文2号館の入口を封鎖し、2階窓より共斗会議の赤旗2枚をさげた。
	18:20	全員館外へ出て、たき火を囲み集会を開き、午後7時30分頃散会した。
	20:05	待機していた林文学部長外数10名の教官の手によってバリケードの排除を始め、午後9時15分完全に終了した。

1月31日(金)	10:16-12:08	学部長会議(経済学部)
2月1日(土)	総長代行は下記の訴えを発表し、印刷配布した。 「当面の課題について学生諸君に訴える。」 「総合図書館開館のお知らせ」2月5日(水)より開館することとなった。	
	15:00	工学部2号館21番教室、学生大会実現工学部連絡会議主催のもとで「学生大会実現総決起集会」が開かれた。
2月3日(月)		理学部学生大会、理2号館講堂、午後2時から
	9:00	医学部医学科学生大会、医本館大講堂。 「1.28合意書批准」無期限ストの解除等可決。 12:30頃終了したがその間共斗系学生50名くらいが散発的投石。
	13:00	工学部大講堂において、「学生大会工学部実現連絡会議」が集会を開いた。 この間旧工スト実系学生約50名による妨害があったが乱入を阻止された。
	13:00	経済学部学生大会、開催
2月4日(火)	反日共系全学連による「沖縄基地撤回、東大・日大奪還全国学生決起集会」が中央大学において行なわれ、約2,000名の学生が集結した。東大では、この動きを予め察知していたので授業を中止した。なお下記文書を2月3日付で発表した。 「2月4日の授業休止と2月11日への振りかえについて」	
	午後	正午すぎ安田講堂奪還を唱える文学部革マル系学生を中心とする学生約50名が正門の鍵を破壊し構内に侵入しデモ続けた。このため午後1時頃、建造物不法侵入の理由により警察官によって6名が逮捕された。
2月5日(水)	法学部集会が午後2時から開かれる予定であったが、斗争委員会と、緑会委員会との間で集会の性格をめぐる対立が生じ流会となった。	
2月6日(木)	薬学部学生大会 午後2時から、記念講堂	
	13:00	工学部教官集会
	12:00	駒場第7本館743番教室 代表団側「団交」
	17:00	〃 900番教室において共斗系との間で「学部長弾劾追求集会」
2月7日(金)	12:30	駒場では前日に引き続き共斗系との集会が開かれた。 集会終了後、正門、第一本館を封鎖。
2月8日(土)	経済学部では、10日(月)からの講義再開に関し学部長名で文書を配布。 「経済学部の学生諸君へ」	

	午後	駒場では代表団側は第七本館で、共斗系側は、第1本館でそれぞれ集会を開いた。
2月10日(月)	13:00	大内経済学部長は、ロビーで共斗系学生に取り囲まれ授業再開に関し抗義を受けた。3時半頃には法文2号館文1番教室に拉致され、「追及弾劾集会」を開いた。
	14:00	共斗系代議員大会 900番教室 代表団系代議員の入場をめぐって、若干の衝突あり 代表団系代議員の集会が743番教室において行なわれた。(駒場)
2月11日(火)	13:30	共斗系学生大講堂前で集会。その後約200名がデモに移り、2時50分頃講堂内に入った。 大学は広報車により退去を呼びかけたので3時半頃全員退出した。
	15:00	経済学部集会開催、5時半終了。 2月10付「大学改革準備調査会の覚書公示にあたって」を公表配布。
2月12日(水)	10:00	大内総長代行代理は経学生ロビーから、共斗系学生により安田講堂内に拉致された。 (経)川田教授、(工)鈴木助教授は、本日の責任者である白木医学部長からの退去通告を学生に手渡したが押し問答のすえ、強制的に白木学部長と連絡をとらされた。 午後1時20分頃、(経)隅谷教授は経済学部として大内学部長を解放するよう申し込んだが、講堂内に拉致された。 午後1時半頃より、マイクによる退去通告、また電話連絡により各部局に対し、学生はとくに許可されたものを除き2時30分までに学外にでよう伝えた。
	15:30	共斗系学生は、講堂内の集会を終え、講堂前で氣勢をあげ大内代行代理をデモの隊伍にくみこんで銀杏並木から図書館前をひきまわし、さらに講堂前で追及を続行した。 大学当局は大内代理に対する、学生の数々の暴行にかんがみ重大な人権侵害があるものと判断し、警察力を要請し、5時9分警官隊は学内に入り学生を学外に排除した。
2月13日(木)	昨日の大内代理に対する学生の暴行等にかんがみて、次のような文書を掲示した。 2月13日付「理性的な討論の回復のために学生諸君に訴える。」	
	13:00	医学部共斗会議は、医1号館の講堂で、約30名が集まり集会を開いた。4時頃終了したが、その後、1号館と外科研究棟を一時的にバリケードで封鎖。後刻、教職員の手で解除。
	15:00	農学部学生大会。2号館1番教室。 午後8時終了。

2月14日(金)	東大斗争全学共斗会議々長山本義隆君から総長代行に対し、2月17日午後1時より安田講堂前において「加藤執行部」の責任を追求する集会に代行以下全評議員の出席を要請する申入書が伝達された。 評議会では、「豊川・上田両教授の「私たちの見解と心境」に対する評議会の見解」を表明。	
2月15日(土)	昨日の全学共斗会議々長山本義隆君に対し、拒否の解答をした。	
	13:20	駒場では共斗会議系学生約150名が正面前に集合、代表団側と小ぜり合いののち、正面内に入り、集会を開催した。
	14:30	共斗側は、正門広場から第2本館への通路に坐り込んでいた代表団側に突っ込みなぐり合いとなる。
	15:00	共斗側は、いったん学外に出、正面前で集会ののち解散する。
2月17日(月)	8:30	工四号館43番教室での夏学期学生試験の予定のところ旧工スト実系学生約30名が阻止のため教室前で集会。若干の混乱のため担当教官は、試験法を切り換えたので学生は解散。
	医学部長、教授総会に対し辞意の表明。	
	駒場では、代表団系学生約300名が第7本館に、民主化行動委の行動隊150～200名が第1本館に、共斗系は明大和泉校舎に泊り込む。	
2月18日(火)	10:11	学部長会議開催(宇航研)
	11:50	駒場代議員大会粉碎を唱える駒場共斗会議派学生は、前夜から明大和泉校舎に泊り込んでいた同派学生の合流により約250人となり正門付近に結集、大会々場の第7本館突入の構えをみせたが、民青系クラス連合等の学生に押し出され、午後2時45分本郷に向った。
	13:27	学部長会議終了。
	13:30	駒場代議員大会が第7本館で開かれ代議員458人(定足数425人)が出席した。 同代議員会では討論後に正、副委員長代行の選出が行なわれ、正委員長代行に牛久保秀樹(クラス連合)が409:13:12で信任され、副委員長代行には友光健七(民青)が369:38:27で信任された。 つづいて監時執行委20人の選出を行なった後提案採決に入り①今村自治会委員長、高木副委員長をリコールのため全学生投票にかける②1・10確認書の10の4の項目の署名③自治会費は今村・高木リコール後支出するという内容の代表団提案を419:4:15で可決し、午後10時終了した。 なお、その他の提案表決は次のとおりであった。 クラス連合提案 全学行動委 L1・2類連合 実行委提案) 141:127:161 270:84:84 115:44:234
	15:00	文スト実学生約20人(内ヘル着用4)が、文学部研究室を机、椅子で封鎖を開始。

15:23	評議会開催（宇航研）
15:25	医共斗派学生約 33 人（内赤ヘル着用 13）が病院付近をデモ後文学部 1 番教室に入る。
15:30	駒場から到着したと思われる共斗会議派学生約 100 人（内ヘル着用約 30）が赤門から入構、正門—銀杏並木—大講堂前のコースでデモ、午後 3 時 40 分文学部 1 番教室に入った。同教室において“加藤執行部追及集会”が開かれた模様。
15:30	文スト実学生は文学部研究室の封鎖を終り、法文 1 号館文学部教室の封鎖に入った。
15:45	上記封鎖を終り、文学部 1 番教室に入った。
17:43	評議会終了
18:05	文学部 1 番教室の“加藤執行部追及集会”は終了。約 300 人が同教室から出て、約 220 人が銀杏並木—正門—都電通り—赤門—経済—医学部中央館—病院—大講堂のコースでデモ行進した。
18:35	上記デモを終り解散約 100 人は再び文学部 1 番教室に入ったが他は帰途につく。
21:00	上記約 100 人は順次帰途につく。
21:30	文学部教官、職員 7 人、人夫 15 人で文学部のバリケード撤去。
22:30	上記作業を終了。さらに文学部 3 番教室を内部から封鎖のかたちをとる。
22:45	上記作業終了。

2 月 19 日（水）	13:00	文学部 322 番教室において人文大学院ストライキ堅持討論集会が開かれ約 100 人が参加した模様。
	15:30	文スト実学生 6～7 人が文学部 3 番教室の扉を破り、机、椅子等を運び出し、法文 1 号館文学部教室入口および文学部研究室入口の封鎖を始めたが、午後 4 時 10 分これを完了した。
	20:10	文学部 322 番教室の集会終了。
	21:00	文学部教官 5 人、人夫 6 人が本富士署員立会いのもとで文学部教室、研究室のバリケード撤去を行なった。
	21:30	上記作業終了。
		（その他） 1. 医学部教授総会が開かれ、白木学部長、台病院長・吉利評議員の辞任を認めた後、投票により新学部長勝沼晴雄、病院長に鹿野信一、評議員に内菌耕二、の各教授を選出した。 2. 読売新聞【個人姓】記者暴行により起訴されていた三吉讓（M4）の第 1 回公判が東京地裁において行なわれた。 3. 大内総長代行代理監禁事件を捜査していた警視庁公安一課と本富士署は経大学院生【個人氏名】を逮捕した。

2 月 20 日（木）	12:45	駒場の第 743 番教室において、第二次「学部団交」臨執委系学生約 400 名が出席し、6 項目について、確認書を取り交わした。
-------------	-------	--

2月21日(金)	13:30	経学生側大学改革委と、教授会側改革委との、第1回大学改革シンポジウム「斗争総括(斗争が提起した大学問題)と改革に当たっての基本的課題」開催。
	15:00	駒場において共斗系約200名が正門広場で集会。4時頃までには300名となり、構内をデモののち、日比谷での集会に出発。

2月22日(土)	15:00	駒場では代議員大会の決定に基づいたストライキ。クラ連と民主化行動委系学生約500名が正面広場に集合、政府文部省への抗議デモののち早大に向う。
		医学部、新学部長就任、声明を出す。

2月23日(日)	【記載なし】	
----------	--------	--

2月24日(月)	医学部附属病院長就任に際し声明をする。	
----------	---------------------	--

2月26日(水)	14:00	文学生(革マル系と思われる)約20名が法文1号館の教室から椅子、机を持ち出し、1号館と2号館の研究室側入口に堅固なバリケードを構築した。
	21:30	バリケードは、教官立合いのもとに作業員により撤去される。
	14:00	駒場第七本館743番教室で教養学部「団交」開始。午後7時頃まで続き、学部長と代表団との間に確認書がとり交わされた。この間共斗系は、正面広場で200名程で集会。
	13:00~17:00	工2号館大講堂工学部代表団主催の「自治会再建討論会」。
	15:00~17:00	農学生自治会主催による講演会。 法政大学教授田沼肇「大学の在り方と我々の生き方」。

2月27日(木)	【記載なし】	
----------	--------	--

2月28日(金)	15:00	駒場共斗系学生約100名正面外 ^{マツ} で集会。 学内デモののち、本郷に向う。
	18:30	駒場寮問題についての「団交」が寮食堂で開かれ、確認書を取り交わす。

3月1日(土)	13:30	午後2時より工学部長所信表明のための学部集会(学生側工学部長追及集会)を開催するにあたり、学部長の健康診断を事前に行ない血圧が高いため集会には2時間しか耐えられない旨学生委員を通じて学生側代表に連絡した。午後2時学生側代表は学部長の診断をした保健センターの医師に面会病状を聴き、学生側で約30分この件について討議した結果評議員の出席で開催することとし、途中状況により学部長の出席(2時間)を求める旨回答してきた。
---------	-------	--

15:30	集会は森口評議員、岡村教授、川上、茅、田畑各助教授、学生（スト実行委員会中心）約 300 名、教官約 70 名の参加により工・大講堂において開催され、午後 4 時 15 分学生側の要求により学部長が出席した。学生側は機動隊導入について追求した。
18:05	工学部長、健康上の理由で退席を希望したので保健センターの医師と青医連の医師立会いにより診断が行なわれ続行不能と診断、その旨青医連の者より場内に報告され休憩（約 25 分間）に入り、退席が認められた。その際次回の集会開催について多少混乱があった。
18:30	森口評議員により再開続行され、次の事項について追及された。 1. 授業再開について 2. 学期末試験実施について 午後 7 時 59 分約束の時間となったので閉会を求めたが聴き入れなく、午後 9 時 02 分次回開催について何等決定をみないまま帰れ帰れのシュプレヒコールで終わった（学生約 80 名、教官約 70 名）

3 月 3 日（月）	13:00	共斗会議派学生による東大・京大学園斗争勝利 3・3 全学総決起集会参加の呼び掛けをマイクをもって安田講堂前で行なわれた。 下記立看板が正門に出た。 3・3 全学総決起集会、1 時 時計台前 { 1. 授業再開強行阻止、正常化策動粉碎、再封鎖 2. 10 項目確認粉碎、7 項目要求確認 3. 加藤執行部打倒 4. 中教審答申粉碎、大学の帝国主義的再編成反対 5. 京大・東大学園斗争勝利
	13:50	白・青・赤のヘルメット着用の学生約 150 名が正門より入り時計台前に集結した。さらに午後 3 時頃には約 350 名の集会となった。
	15:40	集会を終えた共斗会議派学生は隊列を整え、時計台前→病院前→医学部図書館前→赤門→図書館横→法研とかけ足デモを行ない、デモ隊の行動隊約 30 名が法研裏口より侵入、法学研究室を占拠、建物の中にいた教職員を角材を振って追出し、約 10 分で封鎖し、法研入口前で集会した。
	16:11	大学当局は警察当局に対し、機動隊による排除の要請をした。
	16:30	集会の途中でヘルメット着用の学生約 100 名と着用なしの学生約 80 名は正門を出て本郷通りを本郷 3 丁目方面へ向った。
	17:05	機動隊約 500 名が竜岡門より入り 5 時 10 分法研へ到着封鎖を解除、1 部は法研横（正門側）に待機した。このとき法研内部には学生の姿は既に見られず逮捕者はなかった。
	17:15	法研を逃げ出した学生と法研前で集会をしていた学生約 250 名が正門側でうず巻デモを行ない午後 5 時 20 分学生はデモを止め機動隊の隊列に向い合って座り込み、理学部代表・都学連委員長が斗争宣言を行ない、午後 5 時 35 分再びうず巻デモを開始した。 機動隊の 1 部は図書館前より安田講堂前に進み隊列を整え正門の方へ整理を始め進行した。
	17:43	隊長より午後 5 時 30 分で学生に対して大学側の退去命令が出された旨マイクで呼びかけ正門より学生を押し出し、都電通りをへだててにらみ合った。

		1 部学生約 130 名は赤門前に集り抗議集会を開いた。
17:50		法文 2 号館内に武器が持ち込まれたとの情報で文学部教官の立会いのもとに警察官が入り、第一食堂前にあった角材約 106 本を発見押収した。
17:55		教養学部においては午後 3 時 40 分より教職員会館大会議室において教授会を開催中であったが、議長席後方の左右の入口より 1 部ヘルメット着用の共斗会議派学生数 10 名が乱入し、学部長席を取り囲むと同時に各入口を固めた。 学部長席を取り囲んだ学生等はマイクを取り上げて議題および授業再開問題等について説明を強要し押し問答をした。その後 1 部学生は教職員会館 1 階の各出入口をバリケードで封鎖し、午後 11 時頃まで次の 3 点につき追及集会を行ない、下記につき学部の確認書を取り、学生側は教官を建物内にカン詰状態にした。 1. 2・26 日統一代表団系の学生と学部長の取り交わした確認書について 2. 2・18 統一代表団系学生による代議員大会の際貸与した防衛用金網について 3. 1・19 8 号館共斗会議派学生籠城の際の民青系学生の投石攻撃放置の件 確約書 1. この集会に対して機動隊要請反対について 2. 封鎖時に民青系学生の暴力的封鎖解除反対について

3 月 4 日 (火)	0:00	学生側は、明正午より 900 番教室において再開続行する。青医連の医師による診断によって病氣と認められた者以外退出を認めない旨の宣言を行ない本日の集会を打ち切った。
	0:40	教官の間に自由拘束の抗議文書の署名が行なわれた。署名賛成の教官 121 名（署名勧誘には仮眠中の教官には行なわなかった）
	0:50	金沢評議員は肝炎のため保健センターへ移ることが認められた。
	1:30	学部長医師の診断により 2 階会議室で休憩した。
	7:00	学部長 2 階会議室より戻り教官多数の要望にこたえ拘束状態を解くことを学生側に要求することになったが、学生代表が現われなかった。大学当局は、午前 7 時 20 分警察当局に警察力の出勤を要請した。
	7:50	1 教官が自分の意志で出ることを声明、他の数名の教官もこれに呼応、正面出口より約 15 名脱出したが、他は学生の妨害で出られなかった。
	7:55	大学側は退去命令を出した。
	10:45	警察官は正門より構内に入り会館周辺で抗議行動を行っていた学生達を遠ざけ、館内に入り学生約 41 名を逮捕し、正午頃検証を終えヘルメット、角材その他の証拠品を押収して引きあげた。
	10:36-13:38	学部長会議開催（海洋研）
	13:00	医学科総決起集会 於医学部小講堂で開かれた。 赤門前に下記立看板が出された。 { 3. 4 午前 10 時駒場に警官導入さる 44 名不当逮捕さる権力と 1 体になって暴力的圧殺をする 当局に抗議する 経済共斗（準）

14:00	人文系院生総決起集会於医学部大講堂で行なわれる。
14:28-16:47	評議会開催（海洋研）
15:00	病院中尾内科医局で43青医連7名が助教授と対談中の中尾教授を取り囲み追及した。午後5時10分13名に増え激しい口調で教授を追及した。
15:35	経院生の旗をもって学生約13名が経済学部より社研前→法文2号館方面へデモット。
16:57-17:28	研究所長会議開催（海洋研）

3月5日（水）	12:00	銀杏並木文学部入口付近でマイクを持った共斗会議派学生1名が集会参加を呼びかけていた。 法文2号館入口に次の立看板が出た。 { 文「団実委」の学生大会デッチ上げを粉碎し闘う 3・17学生大会勝利へ進撃せよ 1. 大学院入試強行阻止 1. 民青右翼粉碎 文スト実
	14:25	教室内で集会を終えた共斗会議派学生約60名（内武装学生約25名）は文学部前→正門→赤門→教育前をデモリ、2:28医学部本館にきて武装学生は持参の鉄パイプや丸太で扉をたたき本館の中へ入る構えを示し、非武装学生は雪や石等を2階めがけて投げた。一方本館内で集会中の民青系学生数名がベランダに出て石・牛乳ビン等でこれに応戦、さらに水を浴せる等を行なった。午後2時42分共斗会議派学生は隊列を整え本館前をデモリ、午後2時55分社研前→アーケードの方へ引き上げた。
	15:00	文学部民青系学生約72名は医学部本館より出て本館前をデモット。一旦引きあげた共斗会議派学生は赤門方面よりデモってきたので、民青系学生は本館の中に入り扉を閉めた。共斗会議派学生は医学部本館前でデモを繰り返し、午後3時10分医学部図書館前→病院前を通して文学部の方へ引きあげた。

3月7日（金）		銀杏並木法文2号館前に次の立看板が出た。 { 共斗会議カリキュラム 丸山真男第5回公判（論告求刑）3月7日午後1時法文22 必須科目 被告 坂本義和 法文25、3時より 東文のアイマン・加藤の茶坊主 罪状 1月19日弁護調査の拒否 公安検事の構内立入を許す 機動隊のガス弾、水平撃ちに機動隊人間だからとうそぶく
	13:00	法学部法文22番教室に於いて丸山教授の授業が開かれたが、共斗会議派学生の妨害により中止し、教室を退出しようとしたところを取り囲まれて質問攻めに合ったが、午後2時10分気分が悪くなり外へ出た。教室では一般学生と民青系学生が共斗会議派学生の授業妨害に対し追及集会を開いた。

15:20	坂本教授が法文 25 番教室に入り授業を行なおうとしたが、共斗会議派学生の妨害により出来ず、共斗会議派学生により午後 5 時 45 分まで追及された。
10:13-13:58	学部長会議開催（医科研）

3 月 9 日（日）	13:02-14:15	評議会開催（医科研）
------------	-------------	------------

3 月 10 日（月）	8:40	文学部民青系学生および一般学生約 260 名は、文学部 1 番教室で集会開催を予定していたが、共斗会議派学生により同教室を封鎖された。法文 2 号館入口で相互に自己批判を要求して激論を交わしたが、急拠農学部 1 号館に押しかけ、入口を同館工事中の現場より材料を運び内部よりバリケードを築き、農学部自治会を通じて同館 8 番教室の使用許可を申し入れてきた。
	9:00	農学部側より学生委員・評議員が出て説得に当たったが、午前 9 時 10 分教養学部民青系学生約 300 名が応援にかけつけ構内をデモった。 林文学部長より学生集会としてならば許可して欲しい旨の依頼があったので、農学部では午前 10 時より午後 1 時までに時間を制限し、又バリケードを撤去することを条件に 8 番教室の使用を一応許可した。文学部集会支援の学生は午前 10 時頃よりデモを止め、農学部構内に待機した。
	11:00	農学部 1 号館 8 番教室では文学部民青系学生および一般学生約 300 名が入り集会を開いたが、農学部ではバリケードを撤去しないので使用許可を取消し学生側代表に通告したが集会は続けられたので、午後 1 時頃退去命令を出した。また、文学部堀米評議員も集会中の学生に退去するよう呼びかけた。
	13:00	医学部 3 号館 2 階母子保健研究室にガスが充満しているのを保健学科平山助教授が気づき、入室調査したところ大学院医学系研究科修士課程保健学専門課程 1 年【個人氏名】が倒れているのを発見した。
	13:15	共斗会議派学生約 150 名は武装して農学部門をめざし正門を出た。農学部構内 1 号館付近に待機中の民青系支援学生により農学部門の扉を閉ざしたが、午後 1 時 22 分共斗会議派学生は扉を押しあけて入り、門の附近の立看板をゲバ棒で叩きこわし、隊列を整えて民青系支援学生のスクラムによって固められた農学部 1 号館前を通り、農学部 3 号館前までデモり引き返した。午後 1 時 25 分民青系学生がデモ中の学生 3 名を引きずり出し、ヘルメットをはずし暴行を加えた。（内 1 名は池の中に投げ込まれた。）午後 1 時 27 分農学部門側で隊列を整えた共斗会議派学生約 150 名は農学部 1 号館入口めがけて突入し乱斗となり、相方に数人の負傷者が出た。
	13:30	共斗会議派学生は農学部 3 号館正面で氣勢をあげ午後 1 時 43 分デモりながら陸橋を渡り引きあげた。 さらに農学部 3 号館玄関入口では農学部学生と教官の間に会場の貸与のことで激しく口論がなされた。

13:45	民青系学生約 250 名は農学部 1 号館前より農学部 3 号館前までデモを行ない、3 号館前で集会を開き、文学部学生集会の経過報告等を行なった。
14:35	武装した共斗会議派学生約 140 名は陸橋を渡って再び農学部 3 号館前で集会中の民青系学生をおそった。民青系学生は一旦 3 号館裏側へ逃げ隊列を整え押し返した。午後 2 時 50 分双方とも空ビンを投げ、投石を行なった。民青系学生は共斗会議派学生を陸橋まで追み、双方投石しながら共斗会議派学生は午後 3 時引きあげた。
15:20	農学部構内より引きあげて安田講堂前で集会を開いたが、それを終え法文 2 号館の建物内に入った。
16:40	農学部 1 号館内で開催中の文学部学生集会は次の事項を可決終了した。 ①無期限ストライキ解除 ②文学部団交実現要求 ③文学部改革委員会の設置 ④中教審の答申反対 賛成 228、反対 8、保留 26
16:50	農学部 1 号館内で集会を行っていた文学部民青系学生および一般学生は、館外へ出てデモの隊列を組み、農学部構内→陸橋→工列品館横→銀杏並木→正門→列品館横→陸橋→農学部構内とデモった。デモが銀杏並木を通る際文 2 号館 2・3 階および屋上より共斗会議派学生が投石したのでデモ隊後尾がこれに応戦し、午後 5 時 10 分農学部構内へ戻った。
17:20	共斗会議派学生等は施設部横の敷石等をはがし、文 2 号館内に搬入した。
17:30	民青系学生はデモの後、農学部 1 号館のバリケードを撤去した。
20:00	両派学生とも学外へ出た。
14:00	(その他) 医科学研究所では大学院医学研究科入試希望者に対し講堂においてガイダンスを行っていたが、共斗会議派医学部若手研究者約 25 名が会場に侵入、シュプレヒコール等を行ない妨害をしたので中止し所長以下教授が若手研究者と話し合いに入ったが、午後 8 時になっても合意に達せず、3 月 15 日 (土) 午後 1 時～4 時まで再度話し合いを行なうこととした。

3 月 11 日 (火)	10:10-13:40	学部長会議開催 (宇宙航空研)
	13:50-17:20	評議会開催 ()

3 月 12 日 (水)	9:00	大学院人文科学研究科修士課程の昭和 44 年度入学試験を学外の代々木ゼミナール原宿校舎で実施したが、共斗会議派学生約 30 名が入試粉砕を叫び校舎入口に押しかけ、会場入口で検門中の教官数名と押し問答を繰り返したが、原宿警察署の警察官数名により排除された。学生達はその後また引き返して入口前の道路に立って抗議声明を行ないシュプレヒコールを繰り返し引きあげた。
--------------	------	--

		会場内は平穏で午後5時予定の全科目無事終了した。
--	--	--------------------------

3月13日(木)	10:00	大学院人文科学研究科修士課程の昭和44年度入学試験は本日も学外の代々木ゼミナール原宿校舎、日本出版クラブ、私学会館、日経クラブ、茗溪会館、学士会館(神田)、湯島聖堂、東方研究会、銀杏荘、【個人氏名】宅および今道教授宅等に各専門課程別に分散口述試験を行ない、共斗会議派学生の妨害はなく無事終了した。
	13:00	(駒場構内関係) 教養学部では900番教室において高橋学部長、小野、野上各教授等が出席、民青系学生および一般学生との団交を午後7時まで開催、学生側から3月14日より授業再開の要求があったが、学部側は3月17日～20日までの間に再開するよう教授会に諮り、努力すると回答した。参加学生数は約1,000名であった。

3月14日(金)	10:05-13:50	学部長会議開催(医科研)
	14:00-19:10	評議会開催(ク)
	19:20-19:55	協議会開催(ク)
	12:30	(駒場構内関係) 教養学部第1本館前で共斗会議派学生が集会を始め、午後3時頃には約300名となりヘルメットやゲバ棒を運んで約50名が武装した。
	14:00	民青系学生は約300名を集め集会を始めた。
	15:20	共斗会議派学生約300名はデモを始め、第1、第2本館を封鎖した。民青系学生約300名は第2本館付近をデモしたが衝突はなかった。
	16:00	共斗会議派学生は正門前に集結し、正門にバリケードを築き、午後5時解散した。
	17:30	民青系学生は第1、第2本館および正門の封鎖を解除した。
		(その他) 午後8時30分神田学士会館において、加藤総長代行および大内代行代理が記者会見を行なった。

3月15日(土)	13:30	医科学研究所講堂で研究所側から佐々所長、積田教授、上代、安藤各助教授、共斗会議派学生約50名(内20名がヘルメット着用)若手研究者、医局員約50名が出席して医学系大学院の入試実施について話し合いが行なわれた。共斗会議派学生側は大学院入試反対、医学部処分および青医連問題を研究所として如何に処理したかにつき追求した。午後6時30分頃次の3項を文書で約束、さらに入試実施以前に再び学生側と団交、教授会での審議を説明することを確約、午後7時集会を終えた。 1. 1年間の斗争で問いかけてきたことには論理的に充分答えられなかった。 2. 入試問題は白紙に戻すべきであると考え入試事務は中止することを教授会に提案する。
----------	-------	--

	3. かような問題について充分に知ることなく、入試実施を考えたことは誤りである。
3月16日(日)	教養学部教授会が学外の台東区谷中の寺院内で行われた。午後2:40 共斗系学生30数名に襲われ機動隊による排除を要請したが学生は事前に逃亡した。このため約30分中断した。
3月17日(月)	午前9:00 教養学部教授会が学部構内で開かれ午前11:45 共斗系学生約100名の投石、発煙筒投入による妨害があったので中止した。共斗系学生は午後0:15 民青系学生により構外へ押し出された。 午後3:00 より文学部学生大会が法文2号館1番教室で開かれた。午後11:00 武装早大革マル派学生約120名が防衛応援に到着、正門横・法研横・アーケード等文学部に通じる通路をバリケードを築き防衛したが衝突はなかった。 大学改革準備調査会の規則・処分専門委員会は「処分制度の改革について」の試案を中間報告した。
3月18日(火)	大学院教育研究科の昭和44年度修士課程の入学試験が構内で行われ午前8:00 共斗系学生約15名が玄関にピケを張り受験生の入場を阻止したが午前10:00 には入試阻止反対の学生により若干の乱斗があったがピケは解除され、約30分おくれて開始され平穩に終わった。 午後5:00 構内をデモっていた工共斗系学生に工学部長が工8号館82号室に無理に連れ込れたが午後6:45 まで追及されたが解放された。
3月19日(水)	教養学部教授会は午前9:00 新館会議室で開かれたが午前10:50 共斗系学生約50名が投石、発煙筒の投入を行い正門、会議室周辺で民青系学生との投石合戦を行い双方に10数名の負傷者を出した。このため教授会は一時中断したが午前0:30 閉会した。 医学部教授総会は午後1:00 学外の港区浜松町のビル内で開き学部長選挙を行ったが、民青系学生約40名が会場に乱入約1時間学部長を追及したため選挙無効を宣し総会を解散した。 大学院教育研究科の昭和44年度入学試験は妨害なく無事終了した。 農学部林学科3年授業再開。
3月20日(木)	教養学部正門前で共斗系学生が、正門内で民青系学生がそれぞれ集会を開き午後2:00 頃より約30分正門をはさんで投石合戦をおこない双方に20数名の負傷者を出した。 教養学部授業再開(3月24日)を発表掲示
3月21日(金)	総長選挙の予備選挙を医科学研究所で行った。
3月22日(土)	午後0:15 頃より安田講堂前に本学共斗系学生が集り始め午後2:00 には約200名に達した。午後2:30 頃には日大外17大学の共斗系学生が集り時計台塔に赤旗を掲げて都学連大会を午後5:15 まで開いた。参集学生数は約1,850名であった。

3月23日(日)	総長選挙が【以下、記載なし】 午前10時民青系学生約150名集会を開き正門を閉じ内側よりバリケードを築いた。共斗系学生も午後0:00集会を始めた。午後2:15本郷より到着した共斗系学生約60名が角材を配り出した時機動隊正門前で共斗系学生の行動を規制し角材・ヘルメットを押収して引上げたが双方とも集会を続行、時々投石があつて負傷者が若干出た。集会は午後5:00終了した。
3月24日(月)	教養学部授業再開した。 理学部集会午後1:30より理2号館講堂で開かれ午後7:30すぎ終了。
3月25日(火)	加藤総長代行評議会にて、総長就任正式受諾。
3月26日(水)	大学院医学研究科保健学修士課程の昭和44年度入学試験が学外で行われ無事終了した(受験者学内2、学外6) 農学部林学科4年授業再開。

(いのうえ いぶき 東京大学文書館)
(てらしま ひろたか 東京大学文書館)
(あきやま じゅんこ 東京大学文書館)